

中小企業調査 「大同生命サーベイ」

年間レポート

- 2018年4月～2019年3月 -



大同生命では、中小企業の景況感や経営課題の解決に向けたお取り組みなどに関するアンケート調査「大同生命サーベイ」を毎月実施し、調査結果を「月次レポート」としてお届けしています。

この「年間レポート」は、月次レポートで調査した1年間の景気動向を地域別に分析し、各地域の特色や傾向をまとめたものです。全国各地域でご奮闘されている経営者のみなさまへ、それぞれの地域の情報をご提供することで、経営のヒントとしてお役立ていただくことを目的としています。

大同生命はこれからも、「中小企業とともに歩む」という“想い”をより多くの方々にお伝えし、ニッポンの未来をつくる中小企業の永続的発展をご支援できるよう取り組んでまいります。

<調査概要>

- 調査期間・・・2018年4月～2019年3月
- 調査対象・・・全国47都道府県の中小企業経営者（約7割が当社ご契約企業）
- 調査方法・・・当社営業職員が訪問により調査
- 回答企業数・・・毎月 約4,200社 ※詳細は巻末データ参照

<ご参考>

「大同生命サーベイ」では、景気動向以外にも、現在の社会動向も踏まえた経営者のみなさまの関心が高い「個別テーマ」についても調査しています。

(過去1年間の個別テーマ)

調査時期	個別テーマ
2019年 3月	「平成の振り返り」と「新時代“令和”への期待・展望」
2月	中小企業の賃上げ意向、人材への投資・定年年齢の実態
1月	事業承継の実態、M & Aへの関心
2018年 12月	キャッシュレス決済、2018年の振り返りなど
11月	中小企業を守る災害への備え
10月	中小企業の人材確保と働き方改革
9月	成長投資への取組み
8月	I Tの活用実態
7月	(平成30年7月豪雨の影響を踏まえ、調査を中止)
6月	経営者の労働実態
5月	販路開拓
4月	健康経営への取組み

➤ 「大同生命サーベイ」の調査結果は、大同生命Webサイトでご覧いただけます。
<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/> ※「大同生命サーベイ」で検索ください。

目 次

I 景気動向

①全体 P 3

②地域別 P 4

II 地域分析

①北海道 P 5

②東北 P 7
(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)

③北関東 P 9
(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県)

④南関東 P 11
(千葉県、東京都、神奈川県)

⑤北陸・甲信越 P 13
(新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県)

⑥東海 P 15
(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)

⑦関西 P 17
(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)

⑧中国 P 19
(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

⑨四国 P 21
(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)

⑩九州・沖縄 P 23
(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

(参考) 調査概要[回答企業の属性] P 25

— ご利用にあたって —

- ・本資料は、「大同生命サーベイ」の調査結果の開示を目的としており、当社の統一した見解を示すものではありません。
- ・本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、「出所:大同生命サーベイ(2018年度 年間レポート)」と明記ください。
- ・本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。
- ・本資料は、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

※本資料で表示する回答率(%)等は、小数点第1位(景況感は小数点第2位)を四捨五入した値を使用しています。

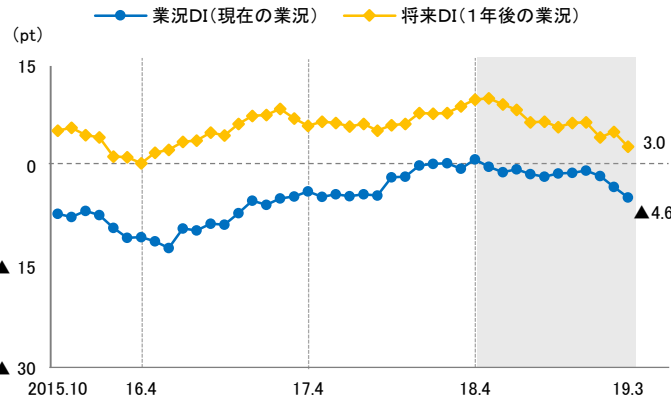
※特に記載がない場合、「無回答」を除いた集計をしています。

※本調査は、当社ご契約企業を中心に実施しており、各調査結果に若干の偏りが生じる場合があります。

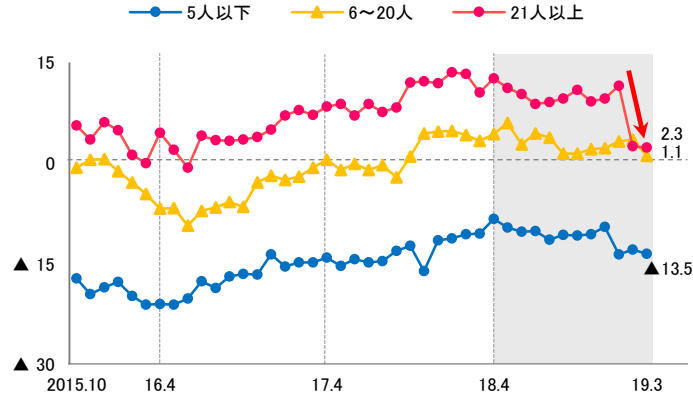
I 景気動向 ①全体 [大同生命サーベイ調査結果]

- ✓ 2018年度の業況DIは、自然災害の影響があったものの底堅く推移しましたが、足もと1~3月では減速感が見られました。
- ✓ 業種別では、「建設業」がプラス圏で推移した一方で、「卸・小売業」はマイナス圏で推移しました。「製造業」では、2月に大幅に低下しており、米中貿易摩擦や中国経済の減速が製造業をはじめ中小企業の景況感にも大きく影響したことがうかがえます。従業員規模別では、「5人以下」の企業で厳しい状況が継続しており、「製造業」の割合が高い「21人以上」の企業では、2月に大幅に低下しました。
- ✓ 従業員過不足DIは、調査開始(2017年7月)以降、マイナス圏で推移しており、特に景況感の良い「建設業」が他業種に比べ低く、人手不足感が高いことがうかがえます。

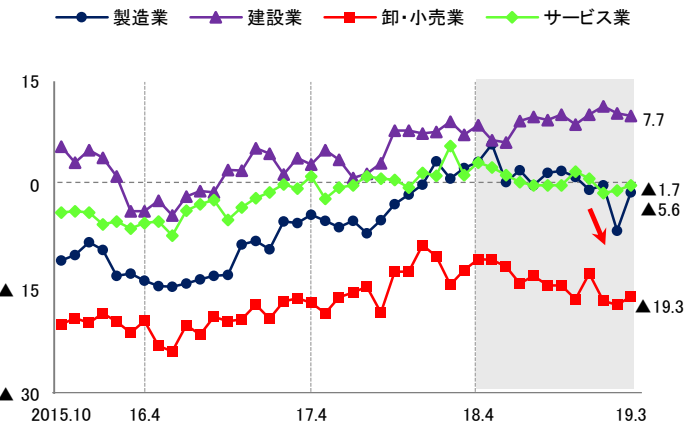
■大同生命サーベイ業況・将来DI



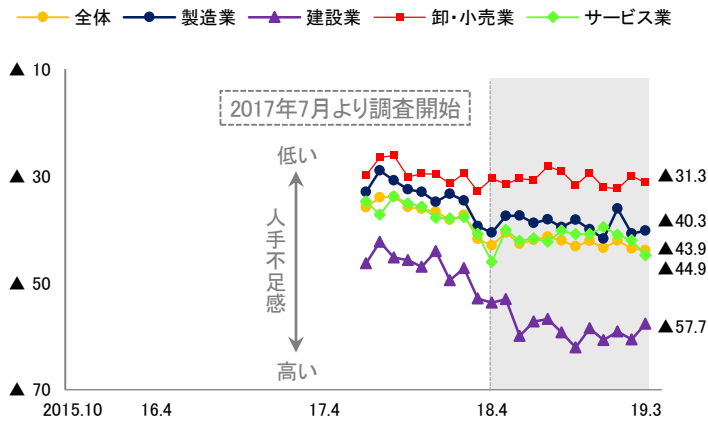
■大同生命サーベイ業況DI (従業員規模別)



■大同生命サーベイ業況DI (業種別)

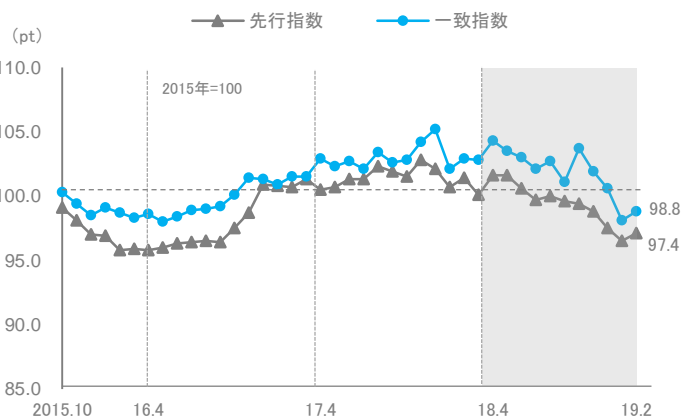


■大同生命サーベイ従業員過不足DI



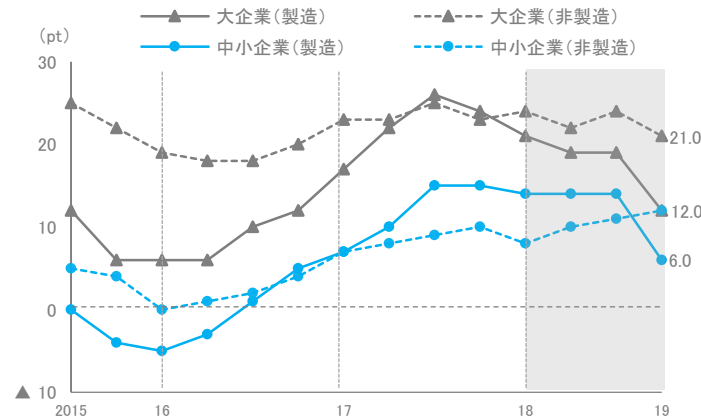
(参考)

■内閣府 景気動向指数



(出所) 内閣府「景気動向指数C I」

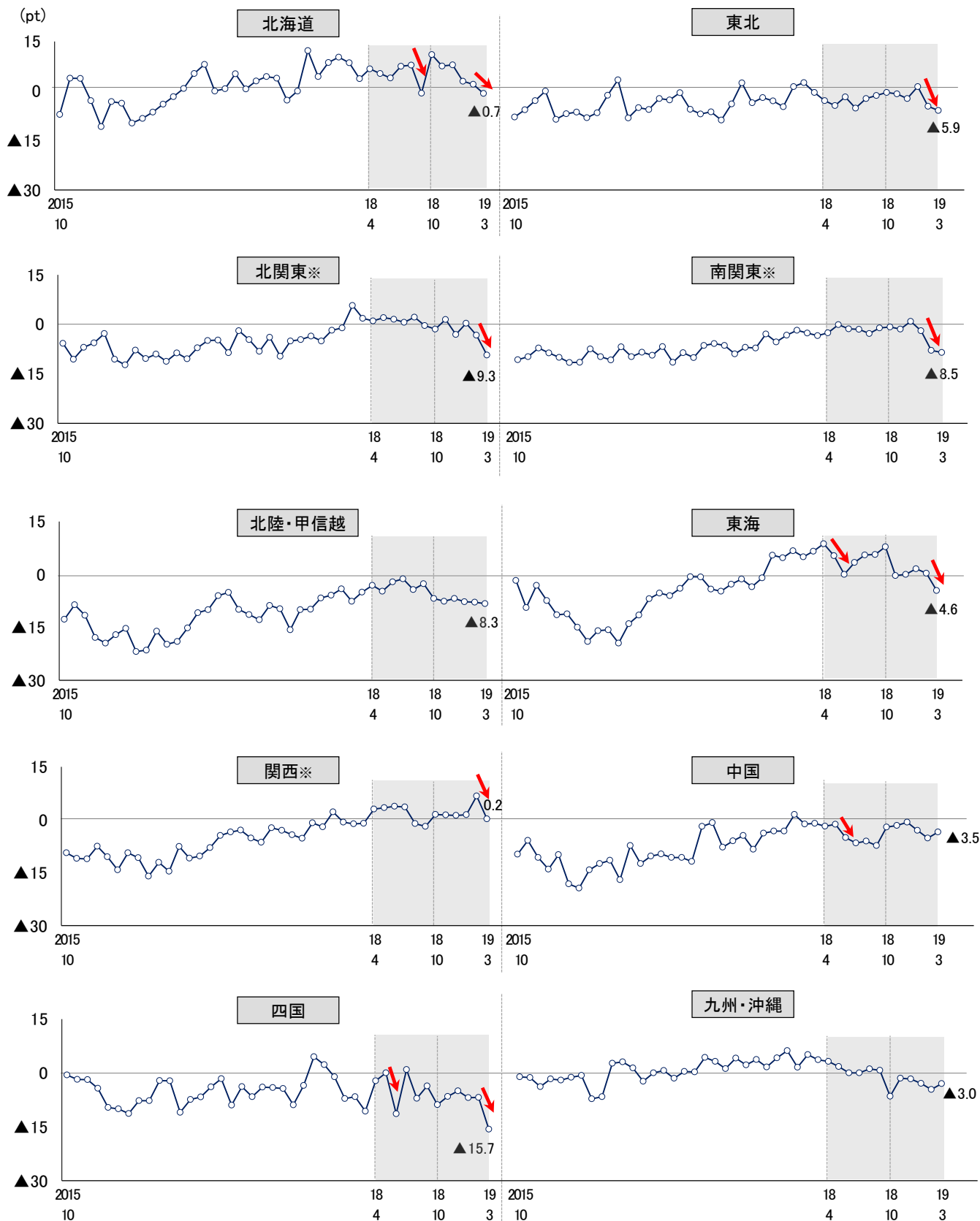
■日銀短観 業況判断DI



(出所) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

I 景気動向 ②地域別 [大同生命サーベイ調査結果]

✓ 大同生命業況DI(地域別)では、天候不順や自然災害の影響もあり、6～9月に「北海道」や「中国」等で低下しました。また、足もと1～3月には全国的に減速感が見られました。



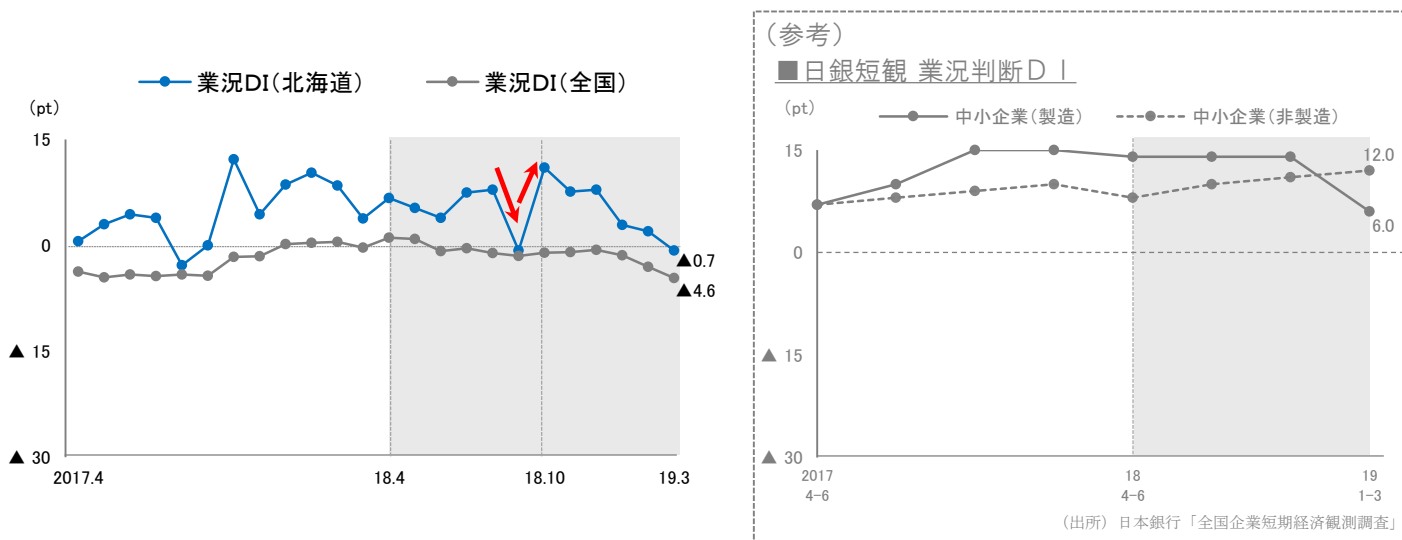
※(北関東)茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県 (南関東)千葉県、東京都、神奈川県 (関西)滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

Ⅱ 地域別分析 ①北海道

2018年度の北海道経済は、9月に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」の影響により、景況感への下押し圧力が見受けられたものの、全体としては堅調に推移しました。足もとでは減速感が見られ、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

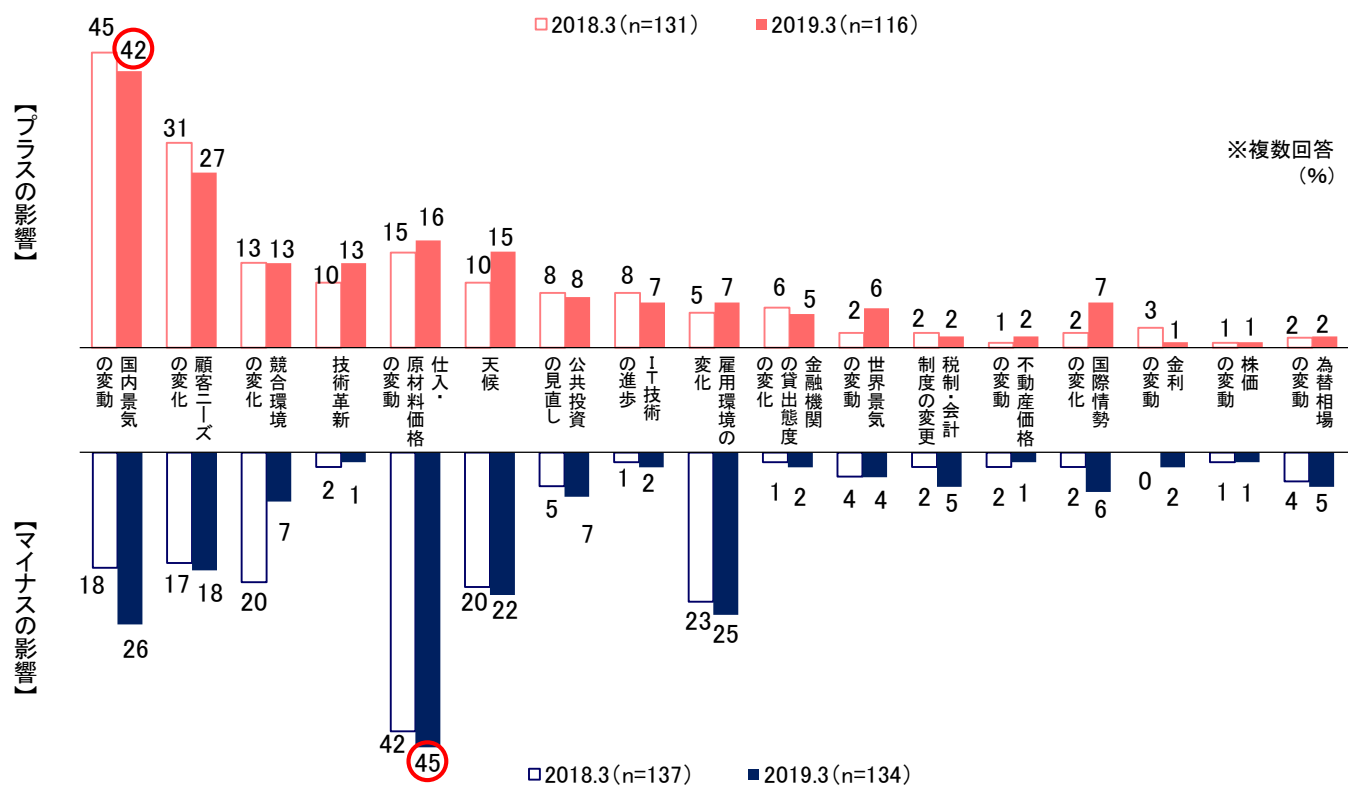
1. 大同生命サーベイ業況DI（北海道・全国比較）

✓ 業況DIは概ねプラス圏で全国を上回る水準で推移しました。地震の影響により9月にマイナスに転じたものの、翌10月にはプラスを回復しました。足もと3月は再びマイナスに転じました。



2. 景況感に影響を与えた要因（北海道/2019年3月・2018年3月比較）

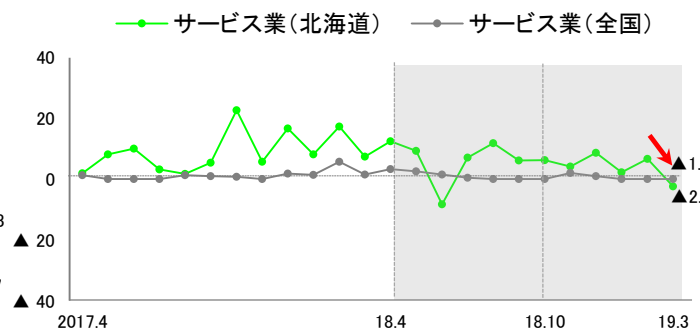
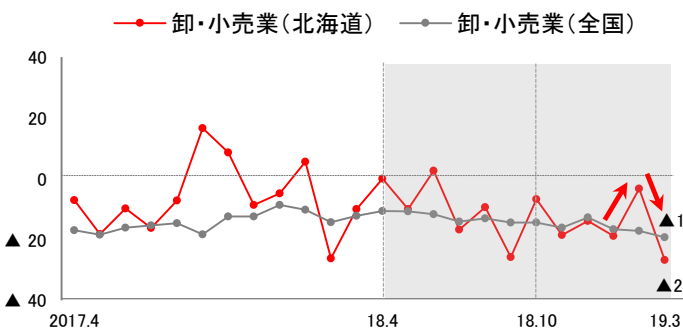
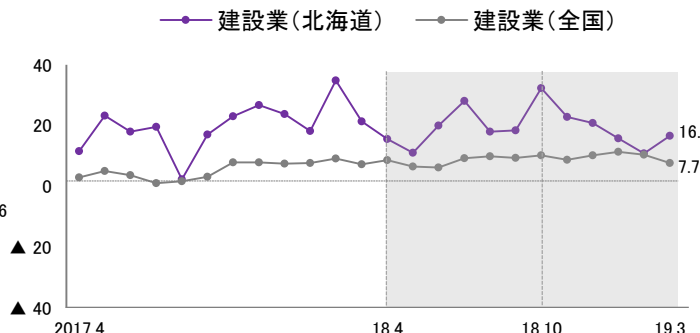
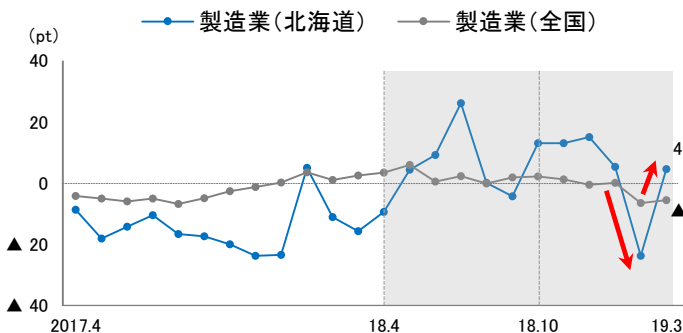
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別分析 ①北海道

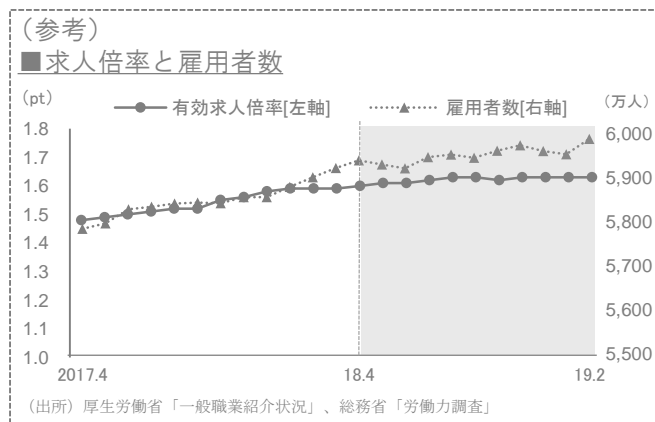
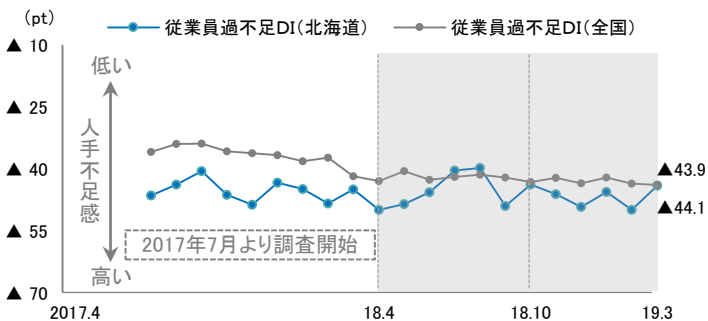
3. 大同生命サーベイ業況DI (業種別/北海道・全国比較)

製造	概ねプラス圏で推移。足もと2月に大きく低下したものの、3月にはプラス圏を回復。
建設	プラス圏で全国を上回る水準で推移。足もとも堅調に推移。
卸・小売	概ねマイナス圏で大きく変動しながら推移。足もと2月に中立水準まで回復したものの、3月に再び低下。
サービス	概ねプラス圏で全国を上回る水準で堅調に推移していたものの、3月にマイナス圏に低下。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI (北海道・全国比較)

✓ 従業員過不足DIは全国をやや下回る水準で推移しました。人手不足感の高まりが見受けられます。

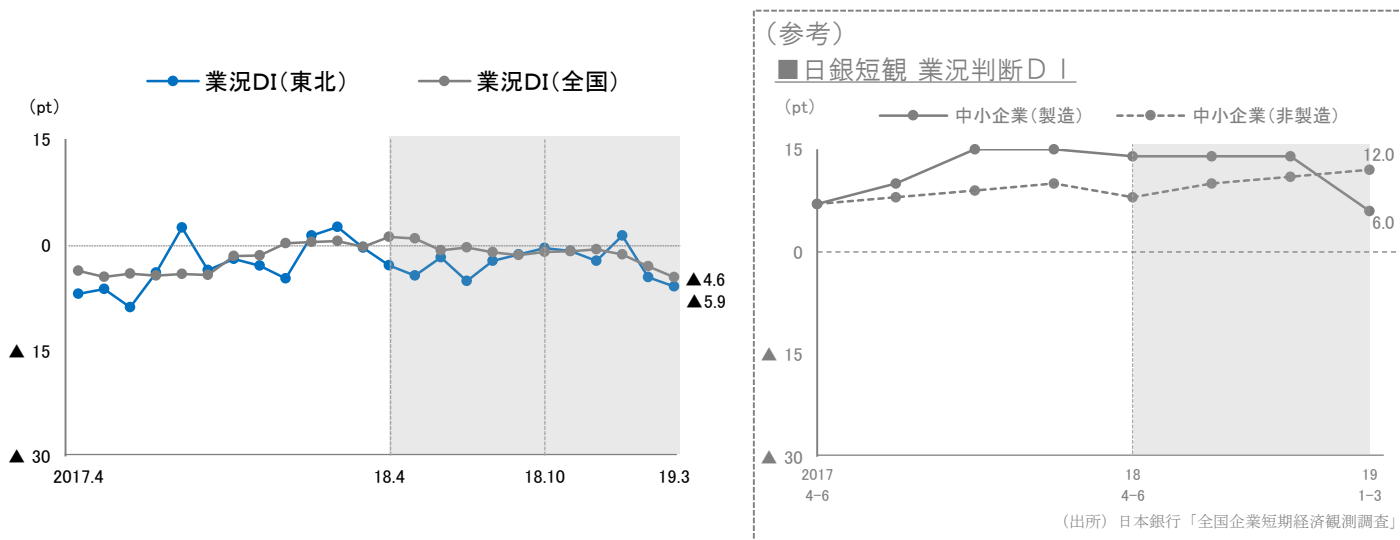


Ⅱ 地域別分析 ②東北（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

2018年度の東北経済は、復興需要の下支えがあるなかでも、台風等の影響により、景況感に下押し圧力が見受けられました。足もとでは減速感が見られ、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

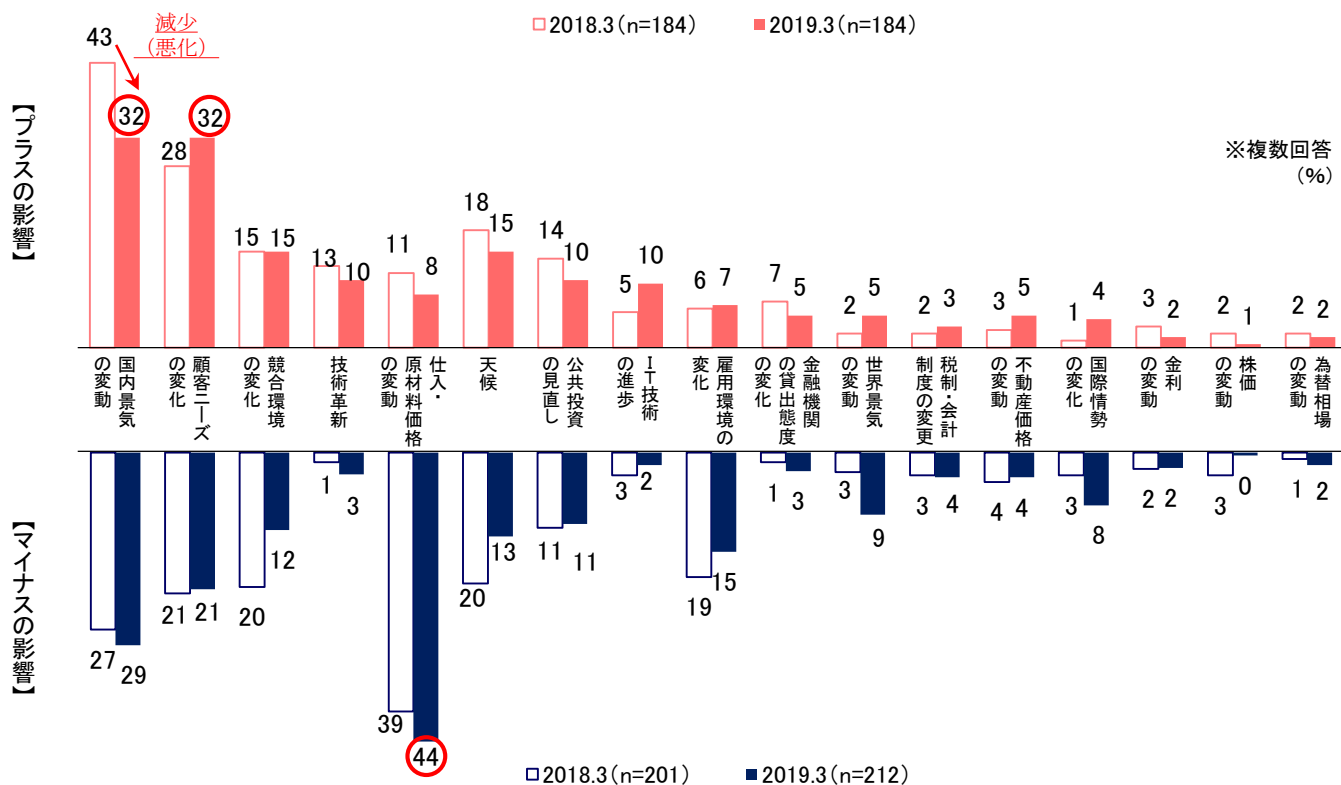
1. 大同生命サーベイ業況DI（東北・全国比較）

✓ 業況DIは、台風等の影響もあり、全国をやや下回る水準で推移しました。足もとでは、マイナス圏で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（東北/2019年3月・2018年3月比較）

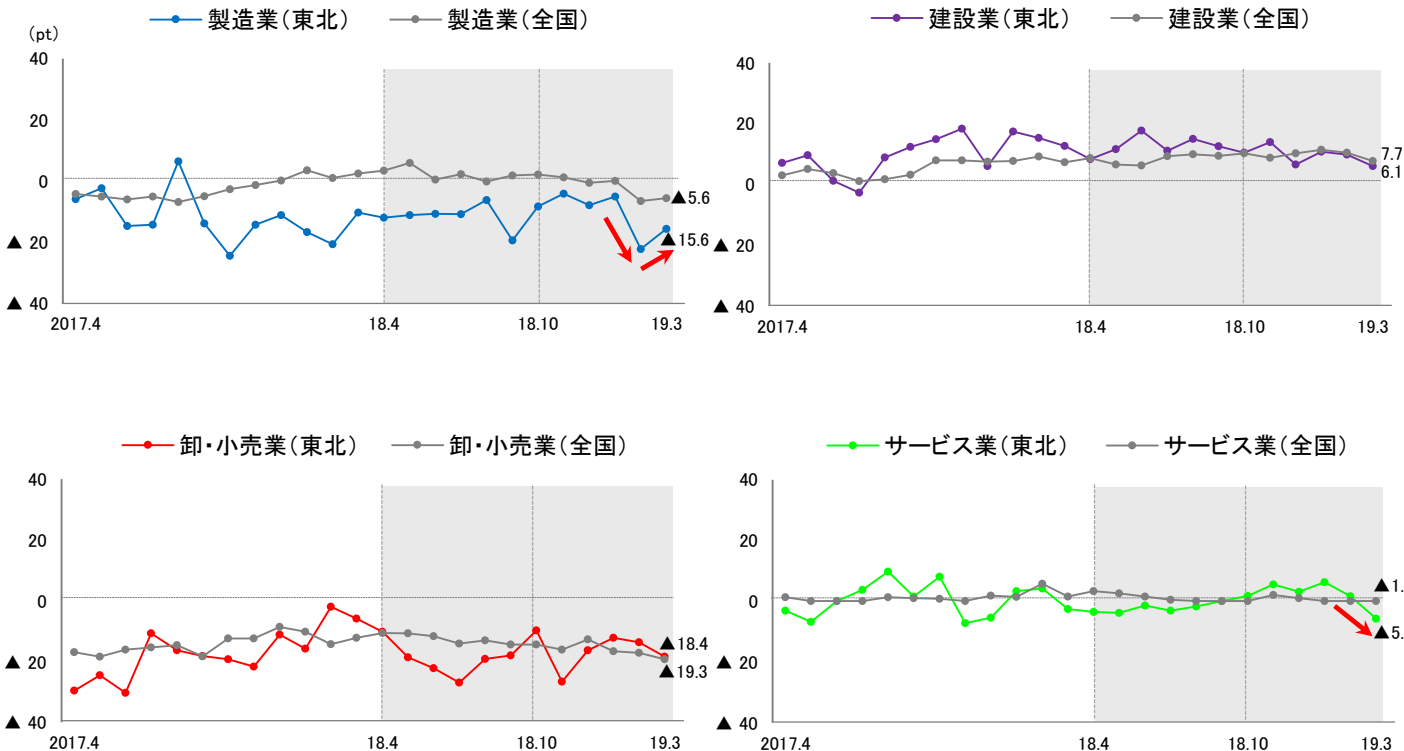
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。特にプラスの影響では、「国内景気の変動(好転)」が前年に比べ11pt減少しました。



Ⅱ 地域別分析 ②東北（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

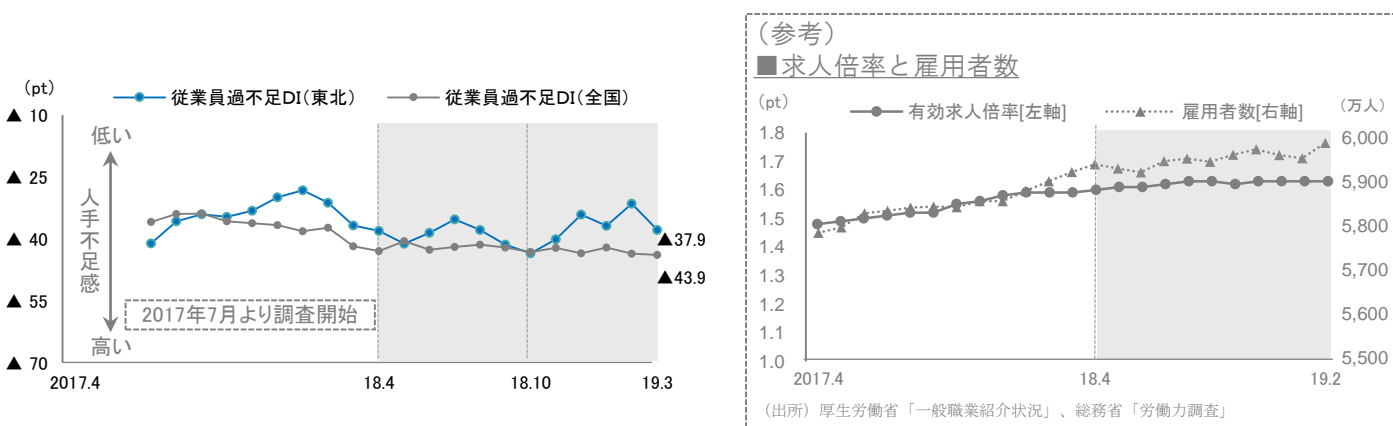
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／東北・全国比較）

製造	マイナス圏で全国を下回る水準で推移。足もと2月に大幅に低下したものの、3月はやや回復。
建設	プラス圏で概ね全国と同水準で推移。足もとも堅調に推移。
卸・小売	マイナス圏で全国をやや下回る水準で推移。足もとでは、全国をやや上回る水準。
サービス	中立水準を全国と同水準で推移。足もとでは、プラス圏で推移していたものの、3月にマイナス圏に低下。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（東北・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国を上回る水準で推移しました。

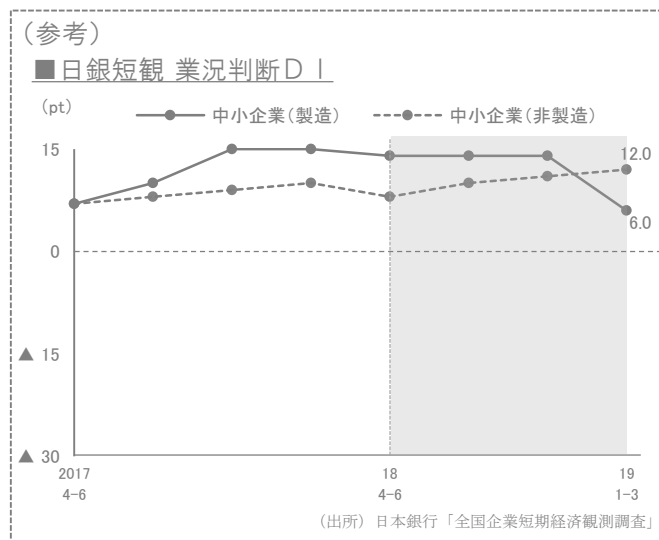
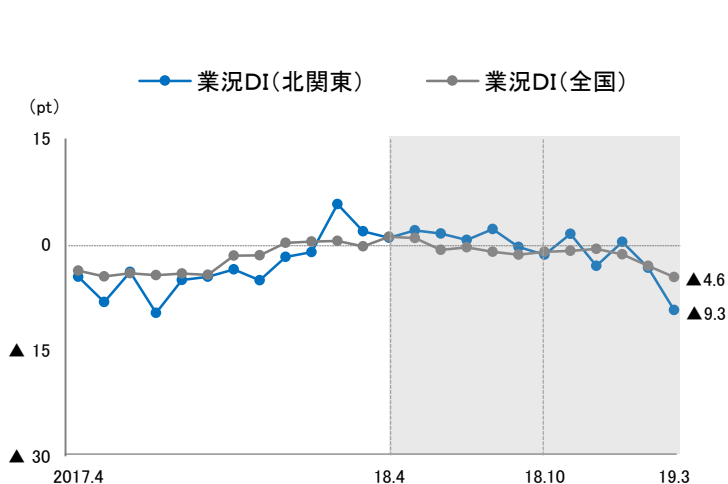


Ⅱ 地域別分析 ③北関東（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県）

2018年度の北関東経済は、夏場の猛暑の影響があったものの底堅く推移しましたが、足もとでは減速感が見られ、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

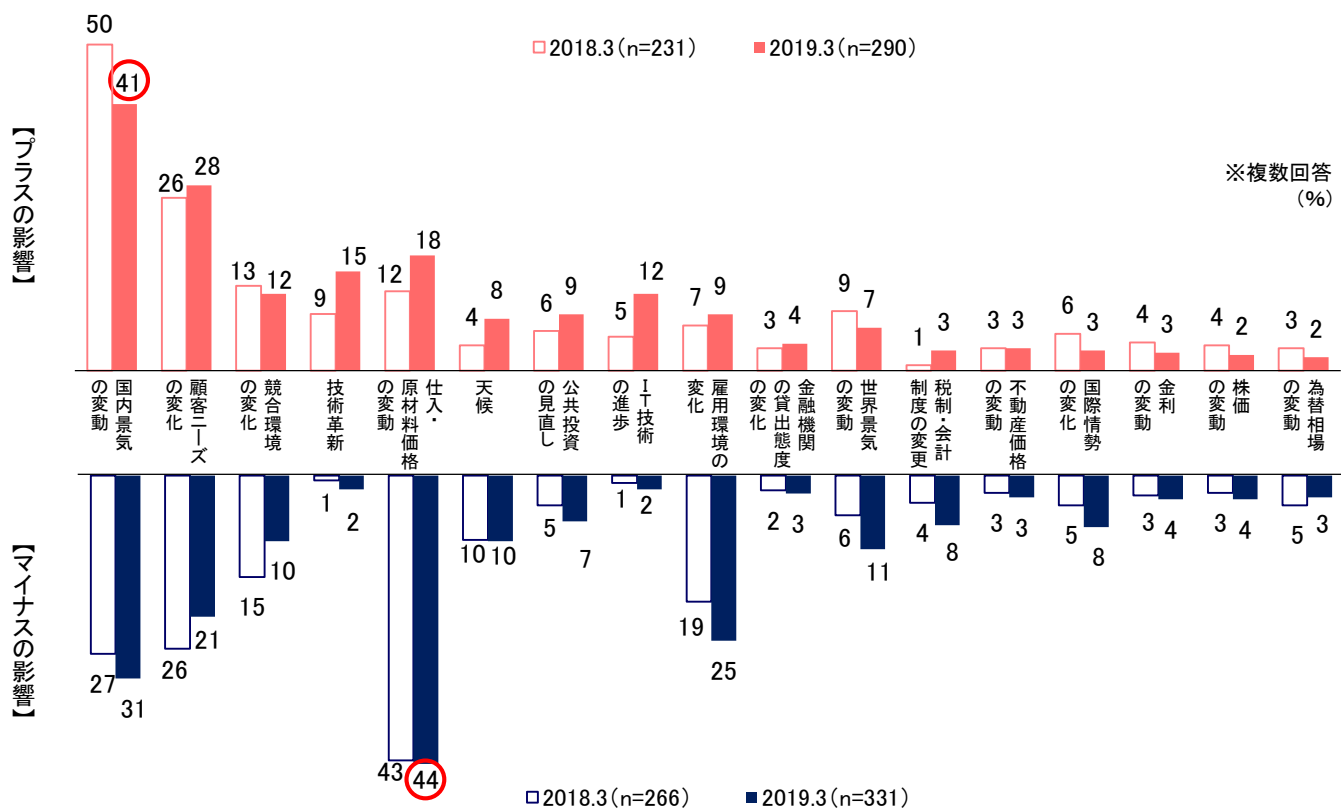
1. 大同生命サーベイ業況DI（北関東・全国比較）

✓ 業況DIは全国と同様の水準で推移しました。足もと3月は、マイナス圏で全国を下回りました。



2. 景況感に影響を与えた要因（北関東／2019年3月・2018年3月比較）

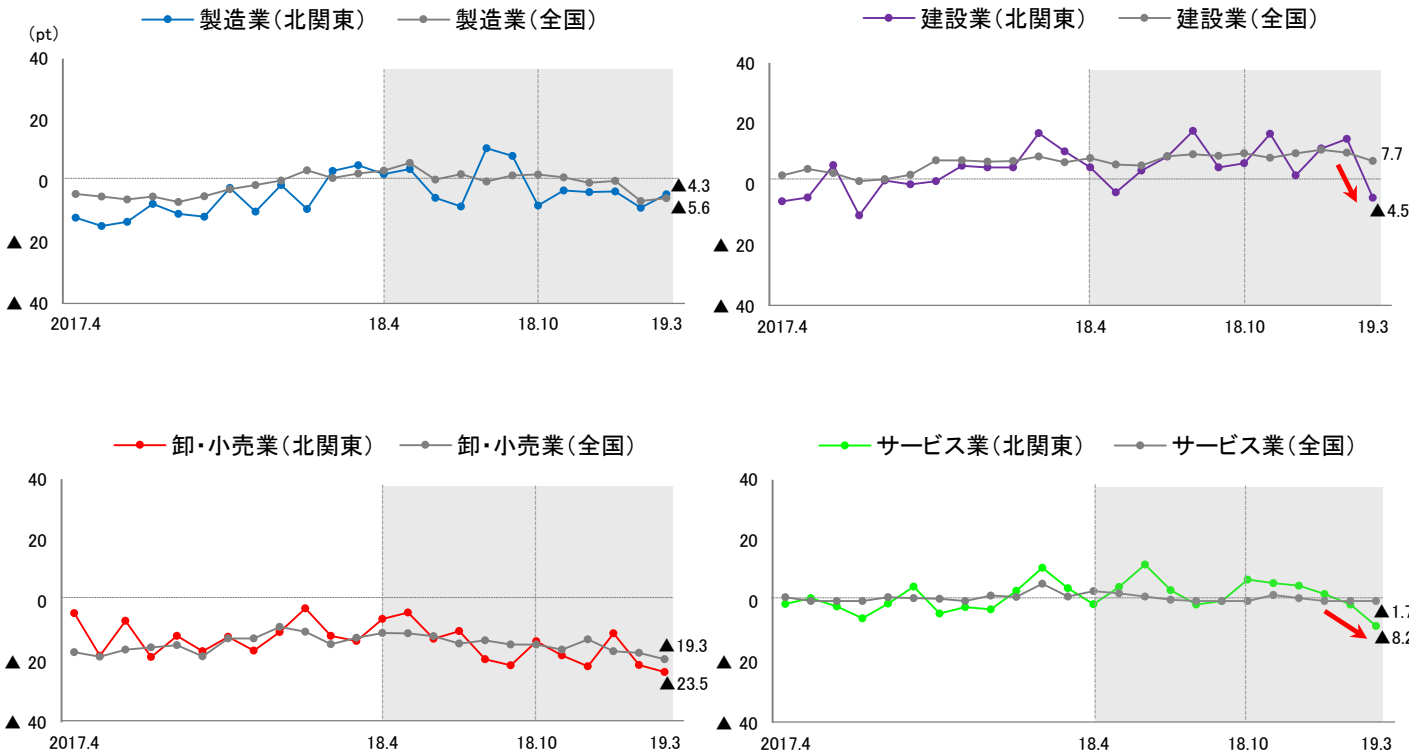
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別分析 ③北関東（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県）

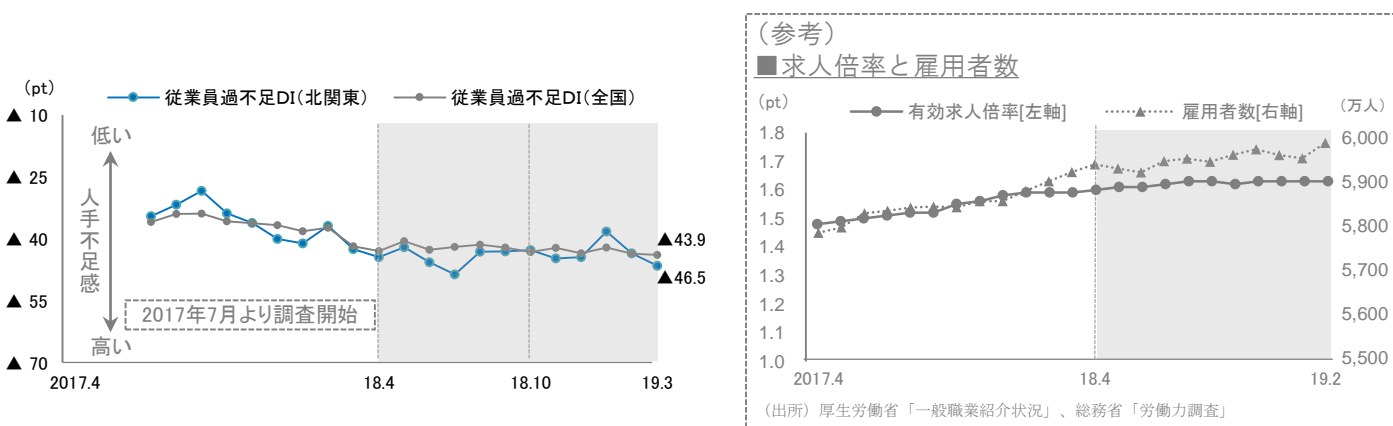
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／北関東・全国比較）

製造	前半はプラス圏・マイナス圏を大きく変動しながら推移したものの、足もとは変動は小さく全国と同水準で推移。
建設	概ねプラス圏で推移。足もと3月はマイナス圏に低下。
卸・小売	マイナス圏で全国と同水準で推移。足もと2～3月は全国をやや下回った。
サービス	概ねプラス圏で全国と同水準で推移。足もと2～3月はマイナス圏に低下。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（北関東・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは概ね全国と同水準で推移しました。

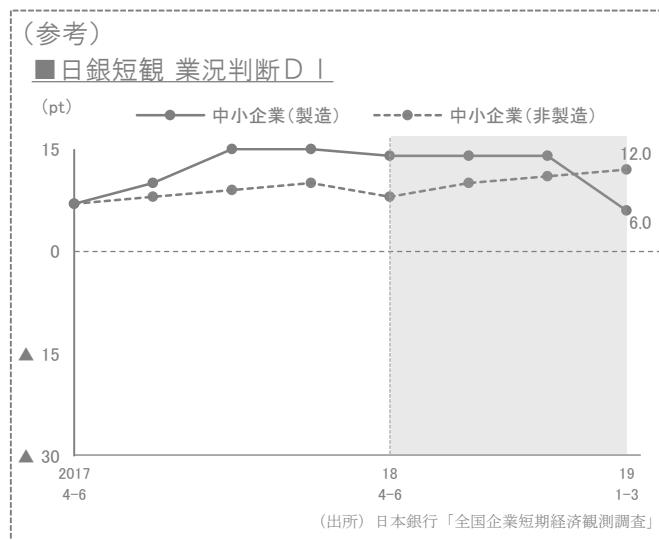
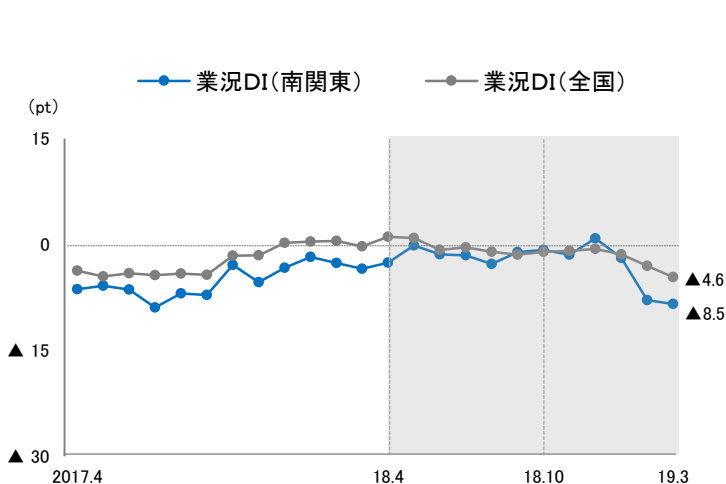


Ⅱ 地域別分析 ④南関東（千葉県、東京都、神奈川県）

2018年度の南関東経済は、夏場の猛暑の影響等により景況感への下押し圧力が見受けられたものの、全体としては底堅く推移しましたが、足もとでは減速感が見られ、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

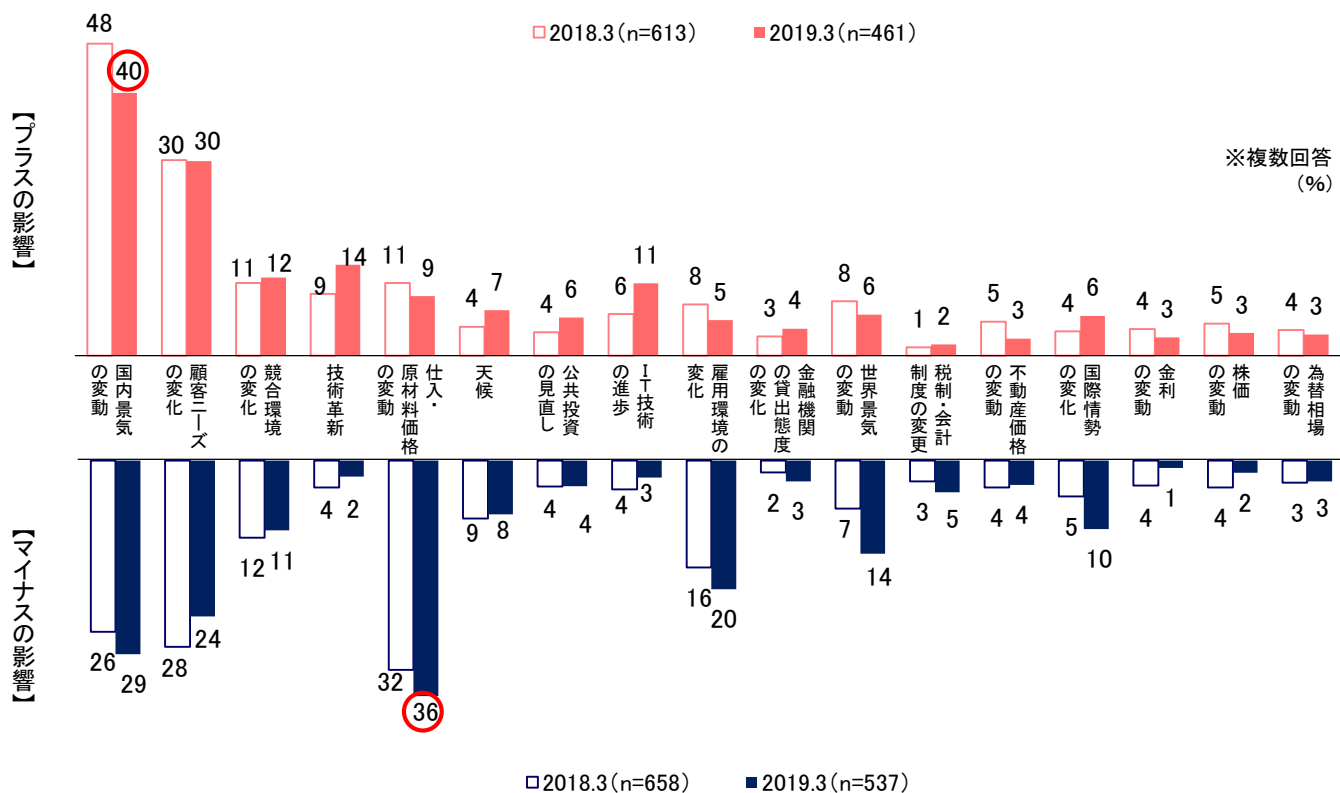
1. 大同生命サーベイ業況DI（南関東・全国比較）

✓ 業況DIは概ね全国と同水準で推移しました。足もと2～3月は、マイナス圏で全国を下回りました。



2. 景況感に影響を与えた要因（南関東／2019年3月・2018年3月比較）

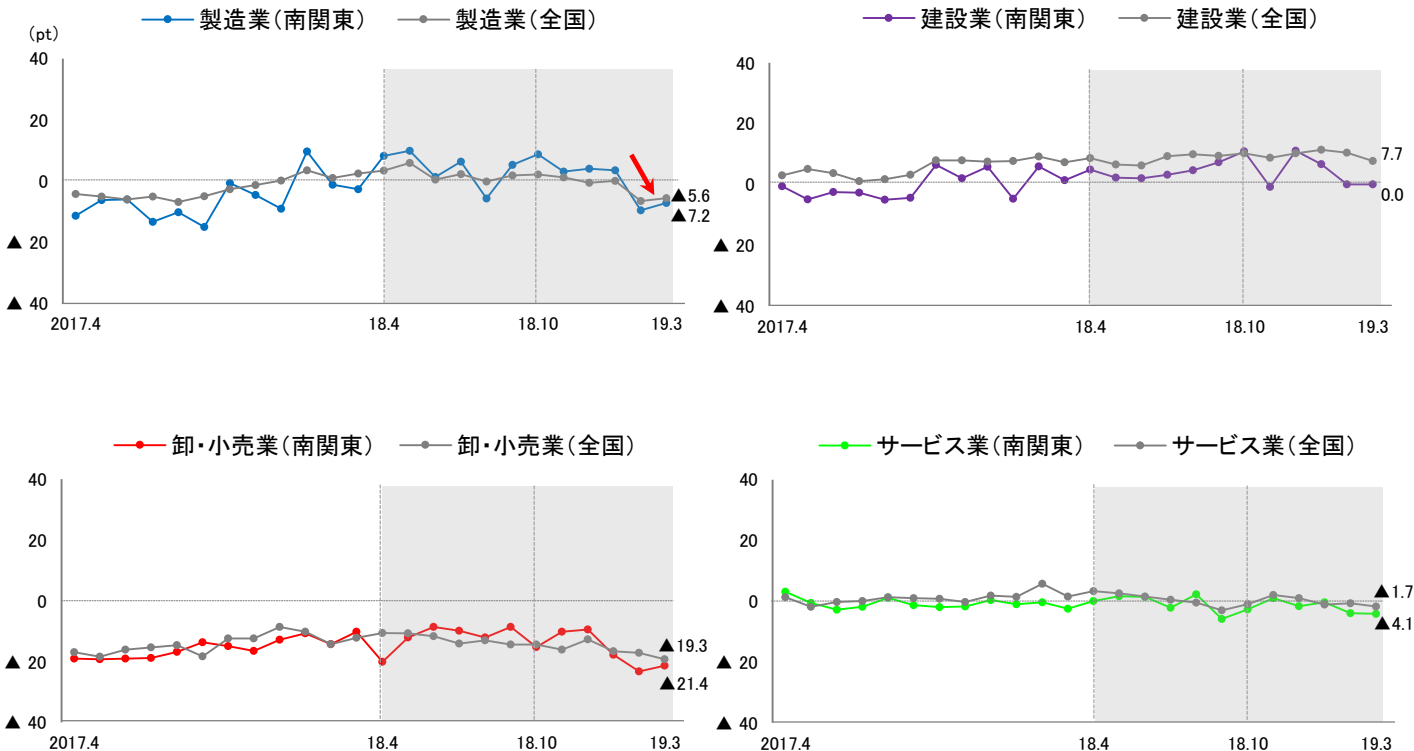
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別分析 ④南関東（千葉県、東京都、神奈川県）

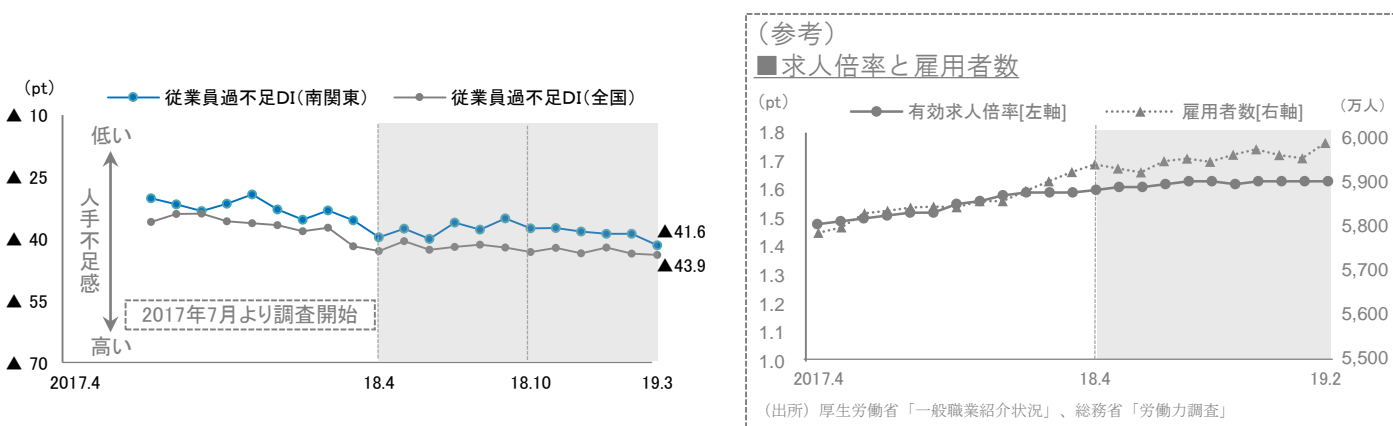
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／南関東・全国比較）

製造	概ねプラス圏で全国をやや上回る水準で推移。足もとはマイナス圏に低下。
建設	概ねプラス圏で全国をやや下回る水準で推移。足もとは中立水準で推移。
卸・小売	マイナス圏で概ね全国と同水準で推移。足もとは全国をやや下回る水準で推移。
サービス	中立水準で全国と同水準で推移。足もとはマイナス圏で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（南関東・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国を上回る水準で推移しました。

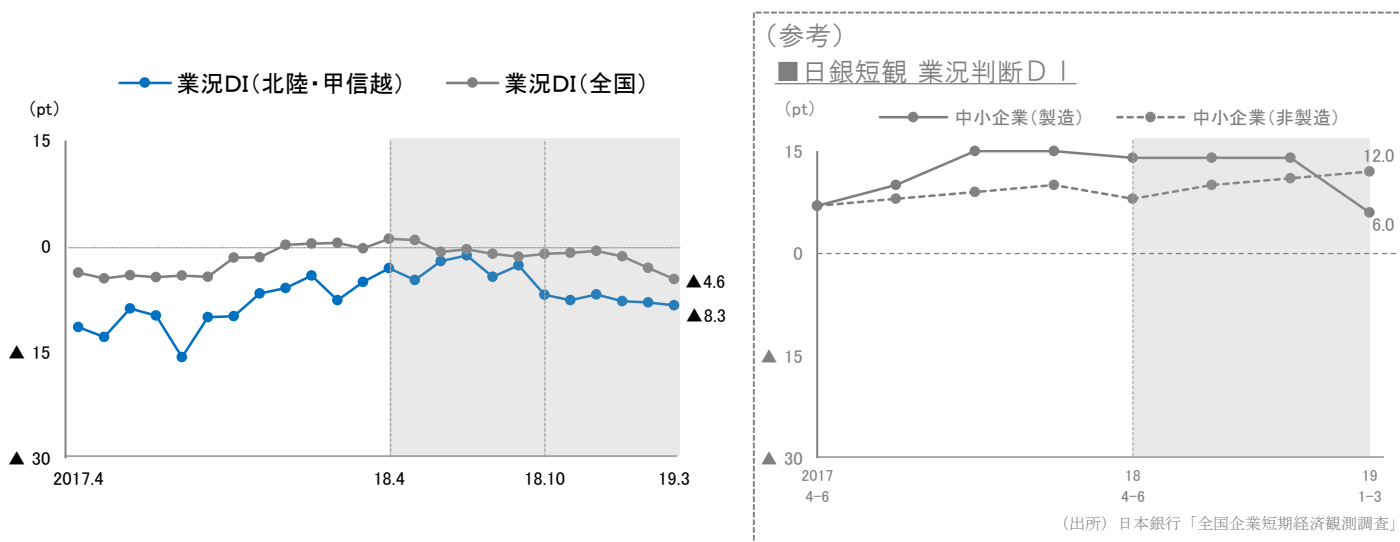


Ⅱ 地域別分析 ⑤北陸・甲信越（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）

2018年度の北陸・甲信越経済は、公共投資や住宅投資による下支えがありましたが、全体としては低調に推移しました。

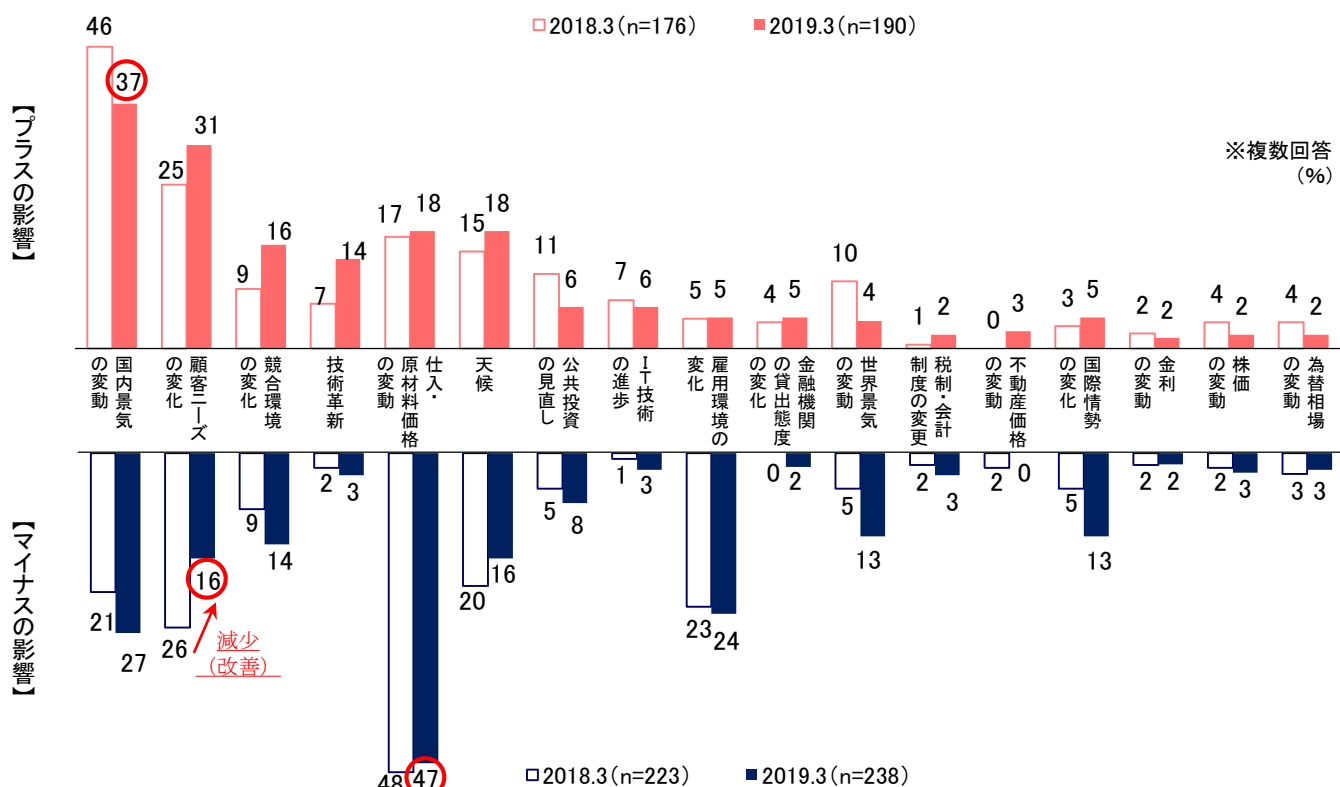
1. 大同生命サーベイ業況DI（北陸・甲信越・全国比較）

✓ 業況DIはマイナス圏で全国を下回る水準で推移しました。足もとも全国を下回る水準で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（北陸・甲信越／2019年3月・2018年3月比較）

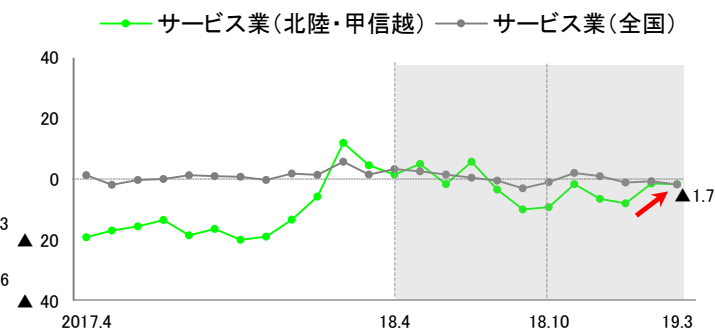
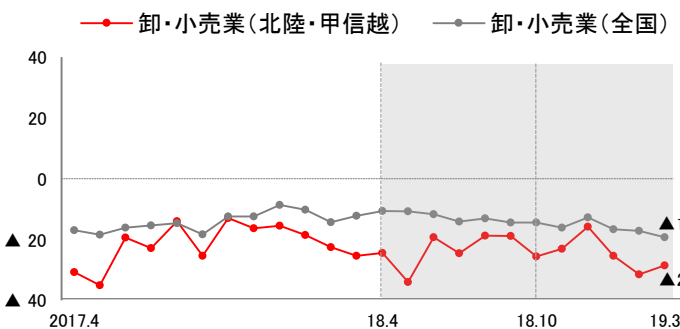
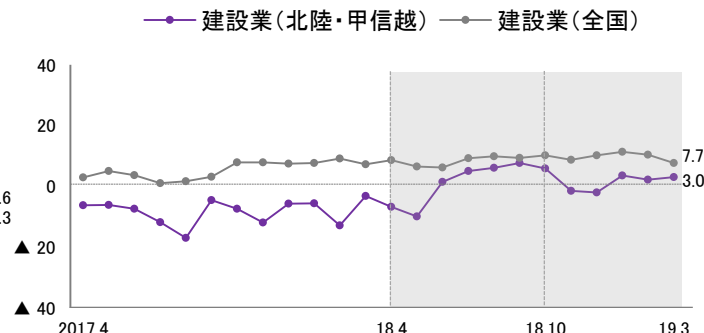
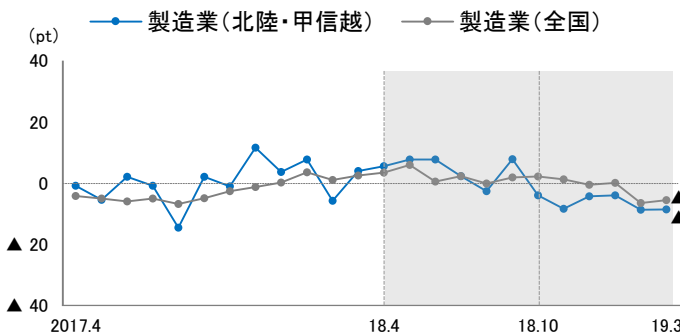
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。特にマイナスの影響では「顧客ニーズの変化」が前年に比べ10pt減少しました。



Ⅱ 地域別分析 ⑤北陸・甲信越（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）

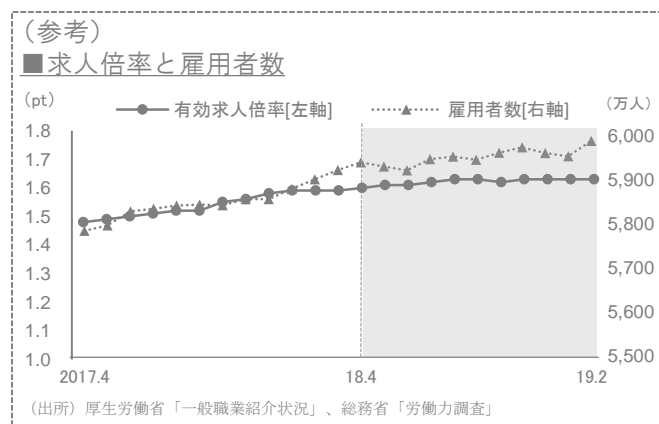
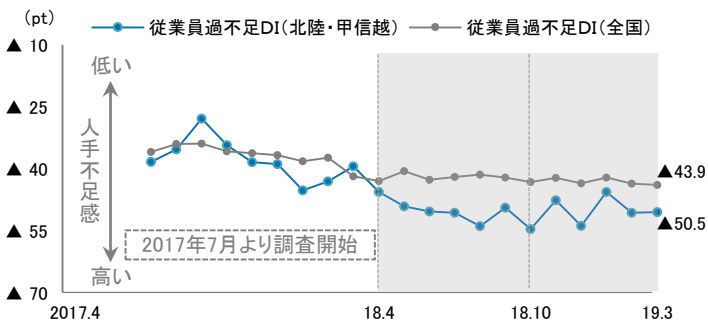
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／北陸・甲信越・全国比較）

製造	前半は概ねプラス圏、後半はマイナス圏で推移。足もとは全国を下回る水準で推移。
建設	概ねプラス圏で全国を下回る水準で推移。足もともプラス圏で推移。
卸・小売	マイナス圏で全国を下回る水準で推移。足もとも全国を下回る水準で推移。
サービス	概ねマイナス圏で全国をやや下回る水準で推移。足もとは中立水準まで回復。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（北陸・甲信越・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国を下回る水準で推移しました。人手不足感の高まりが見受けられます。

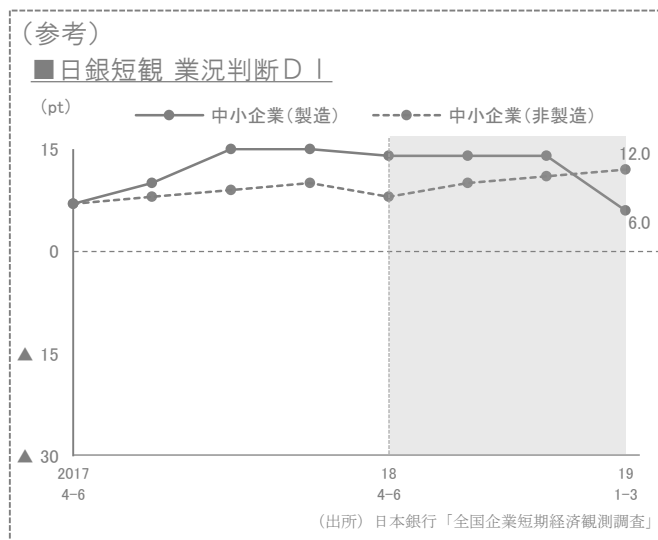
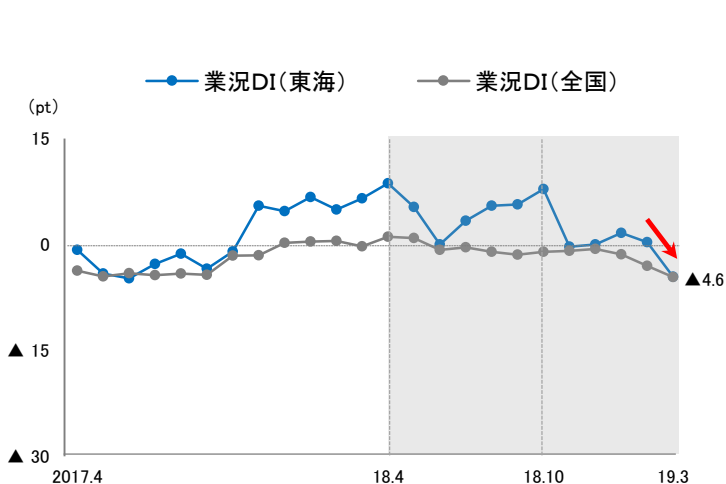


II 地域別分析 ⑥東海（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

2018年度の東海経済は、製造業が牽引役となり高い水準で推移しましたが、足もとでは減速感が見られ、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

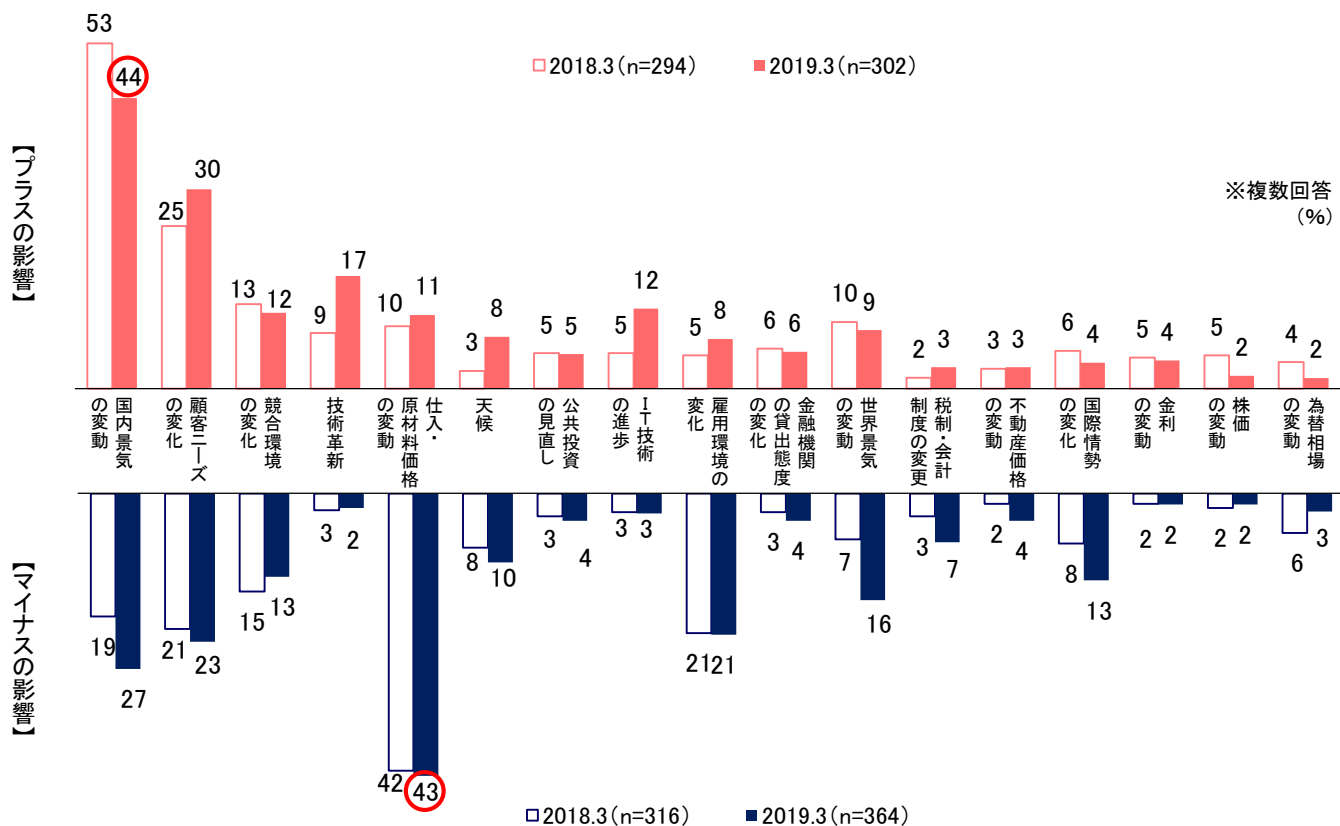
1. 大同生命サーベイ業況DI（東海・全国比較）

✓ 業況DIは概ねプラス圏で全国を上回る水準で推移しました。足もと3月はマイナス圏に低下しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（東海／2019年3月・2018年3月比較）

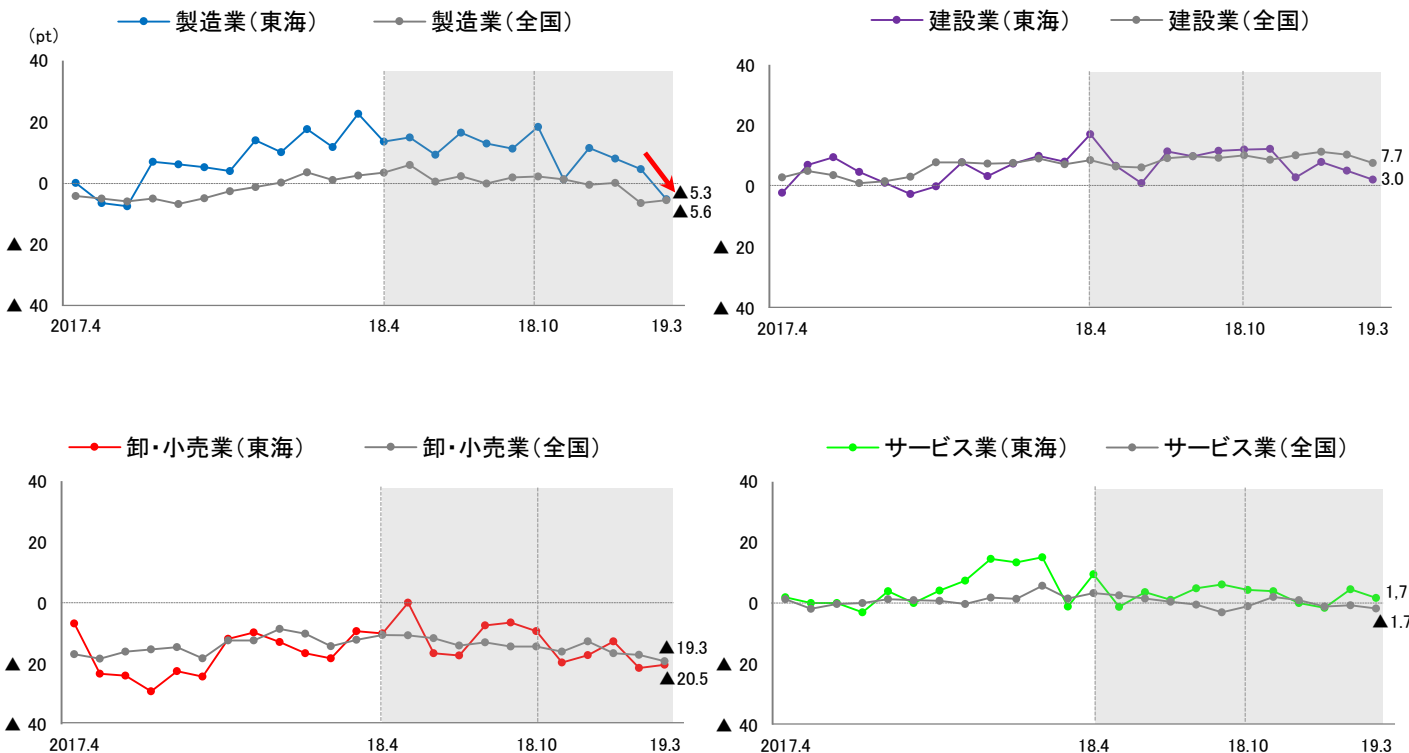
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



II 地域別分析 ⑥東海（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

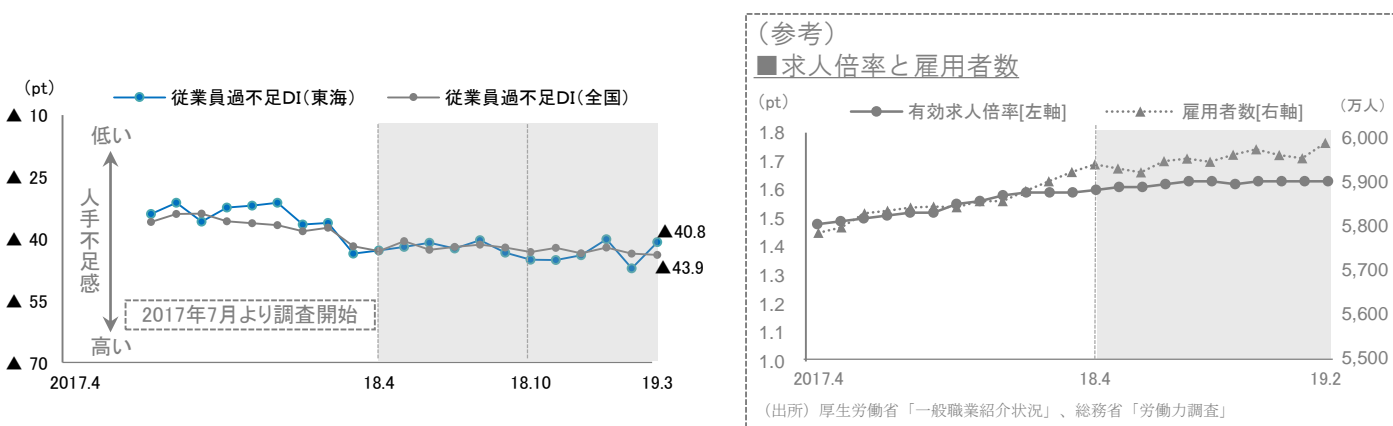
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／東海・全国比較）

製造	概ねプラス圏で全国を上回る水準で推移。足もと3月はマイナス圏に低下。
建設	プラス圏で概ね全国と同水準で推移。足もとは全国をやや下回る水準で推移。
卸・小売	概ねマイナス圏で全国と同水準で推移。足もとは全国をやや下回る水準で推移。
サービス	概ねプラス圏で全国と同水準で推移。足もとは全国をやや上回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（東海・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国と同水準で推移しました。

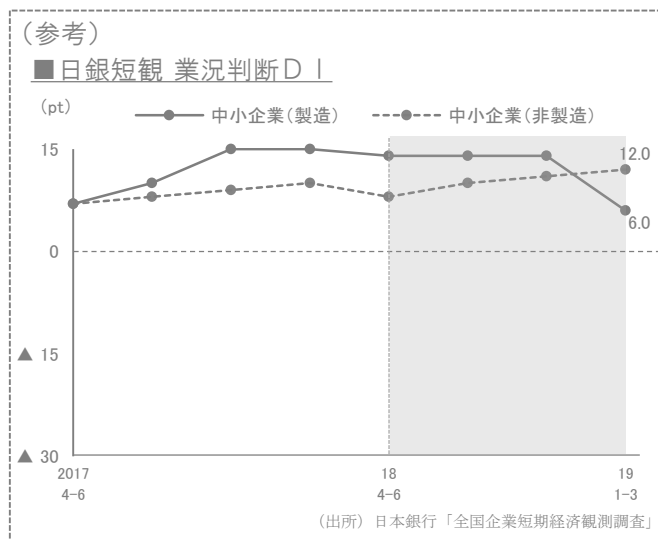
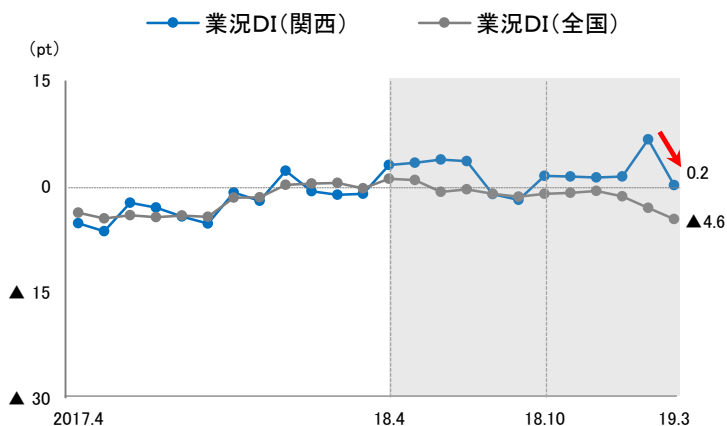


Ⅱ 地域別分析 ⑦関西（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

2018年度の関西経済は、建設業の牽引に加え、大阪・関西万博への期待感もあり、底堅く推移しました。足もとではやや減速感が見られ、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

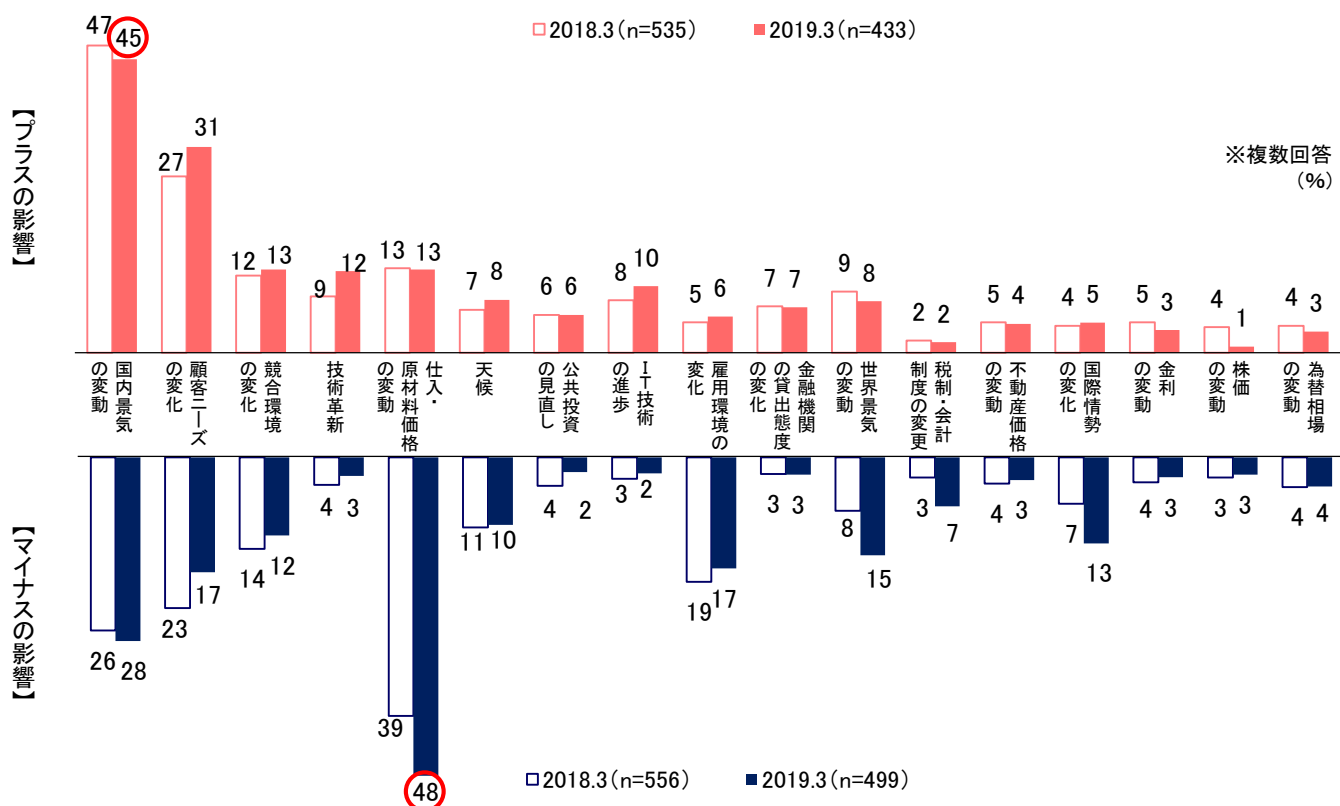
1. 大同生命サーベイ業況DI（関西・全国比較）

✓ 業況DIは概ねプラス圏で全国を上回る水準で推移しました。足もと3月は前月から大幅に低下したものの、プラス圏を維持しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（関西／2019年3月・2018年3月比較）

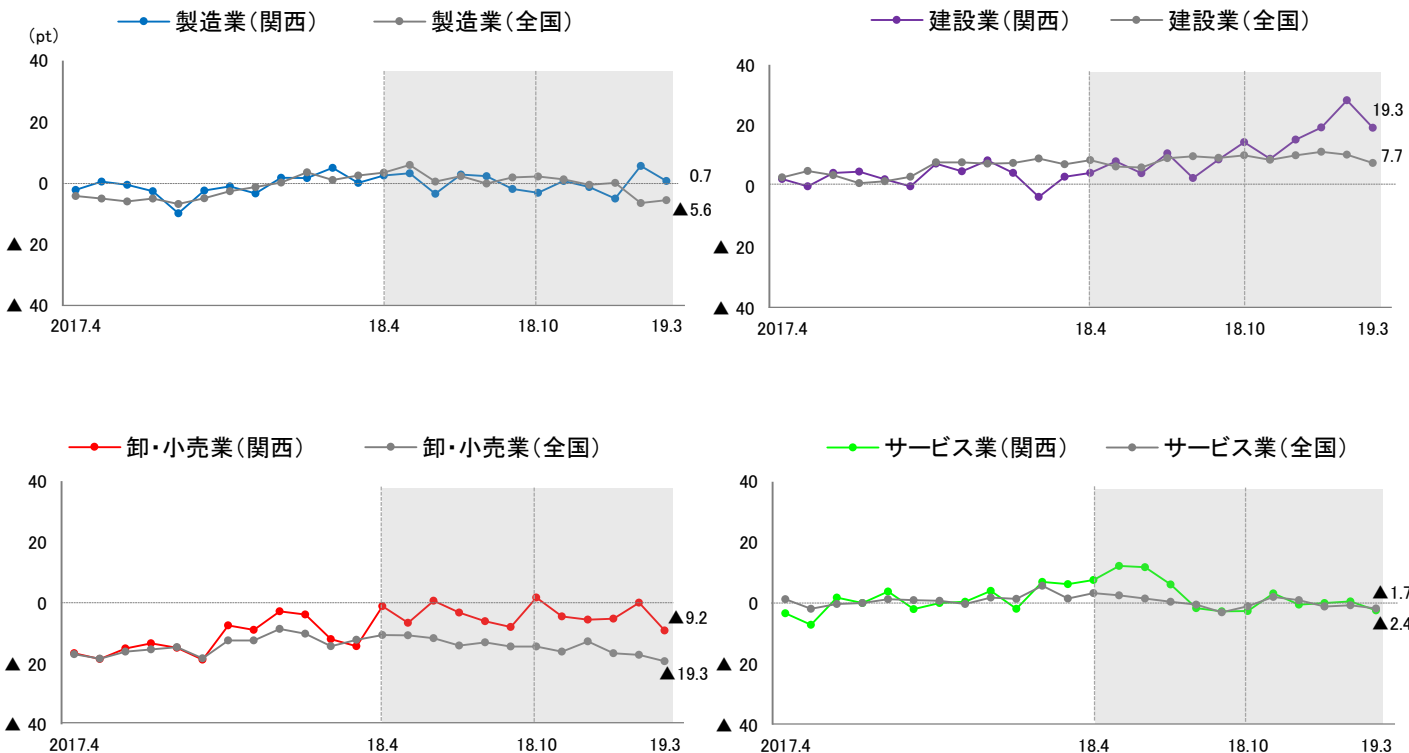
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別分析 ⑦ 関西（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

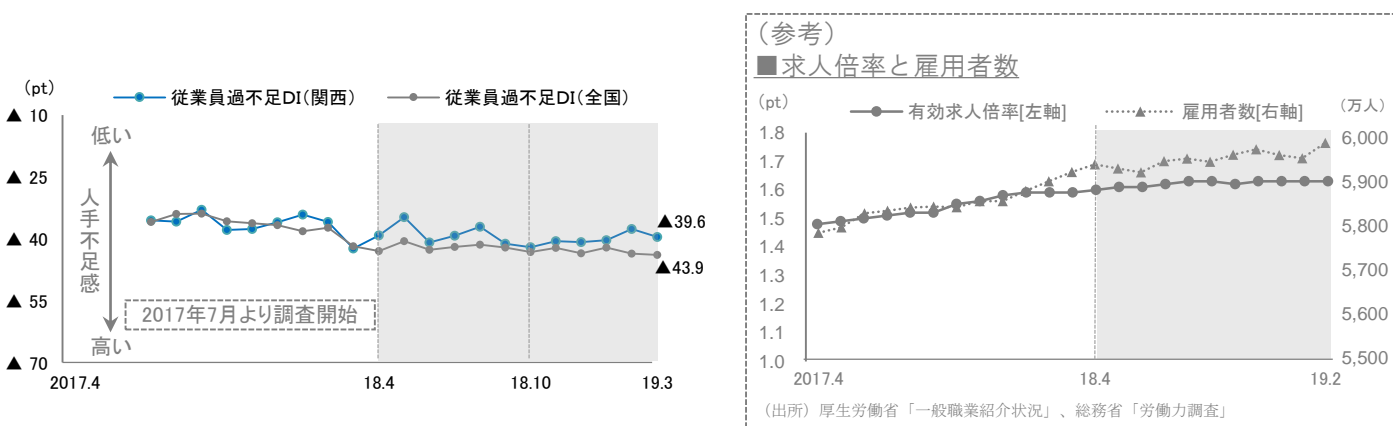
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／関西・全国比較）

製造	概ね中立水準で全国と同水準で推移。足もとはプラス圏で全国を上回る水準で推移。
建設	プラス圏で推移。足もとは全国を大幅に上回る水準で推移。
卸・小売	概ねマイナス圏で全国を大幅に上回る水準で推移。足もとも全国を大幅に上回る水準で推移。
サービス	4～7月はプラス圏で全国を大幅に上回る水準で推移。以降は中立水準で全国と同水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（関西・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国を上回る水準で推移しました。

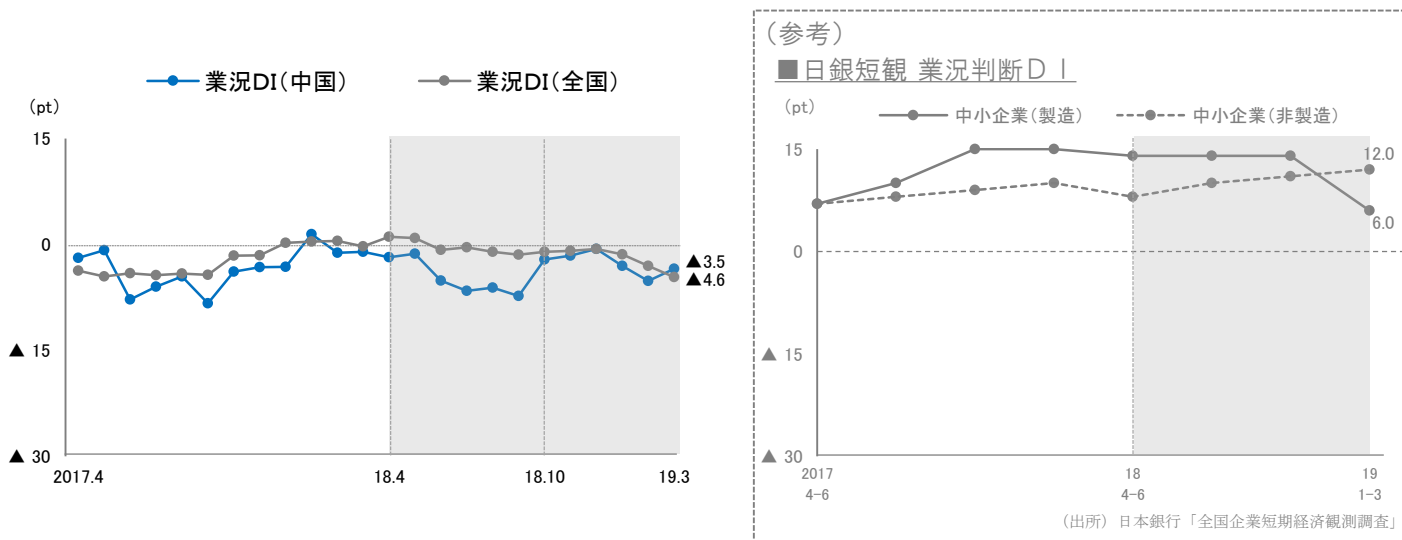


Ⅱ 地域別分析 ⑧中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

2018年度の中国（地区）経済は、7月の西日本豪雨による影響が景況感の下押し圧力となったことに加え、足もとでは減速感が見られ、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

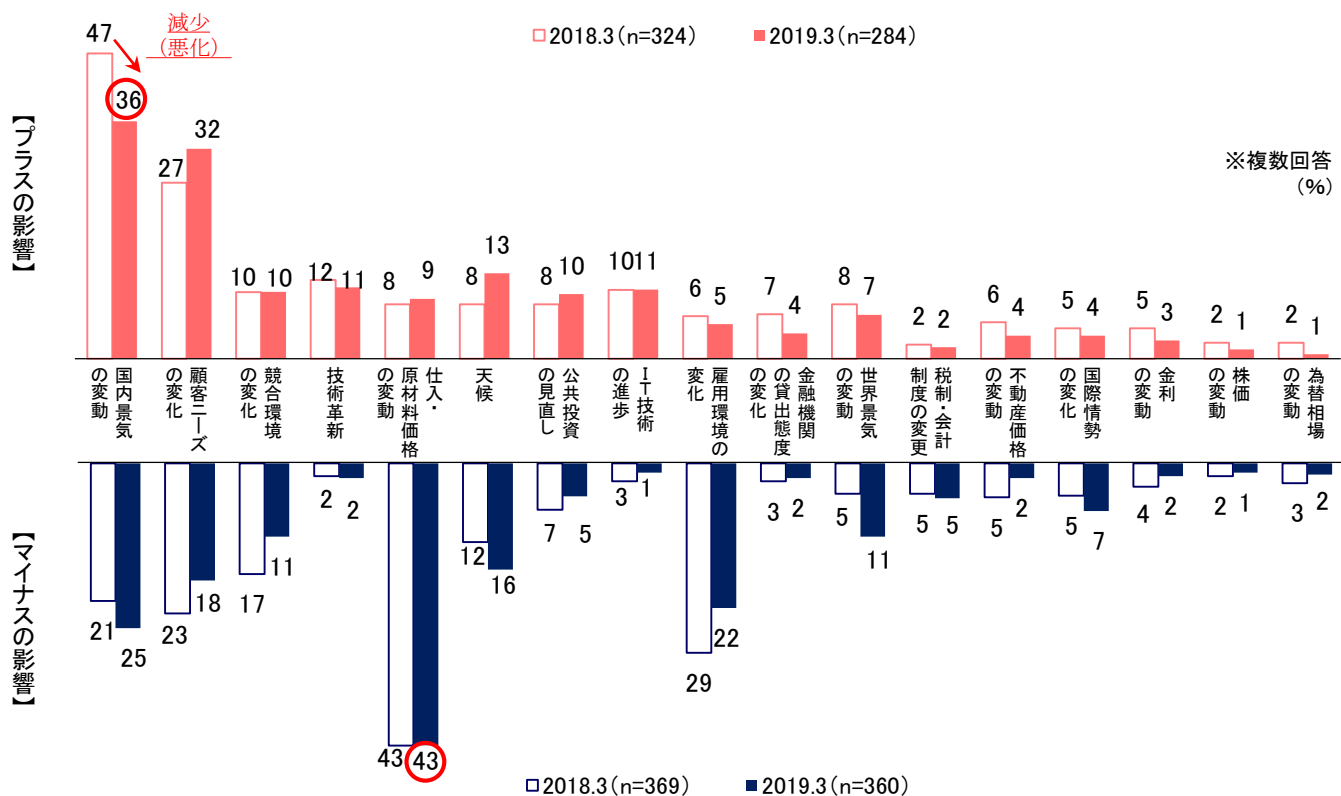
1. 大同生命サーベイ業況DI（中国・全国比較）

✓ 業況DIは、マイナス圏で全国を下回る水準で推移しました。足もとは全国と同水準で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（中国／2019年3月・2018年3月比較）

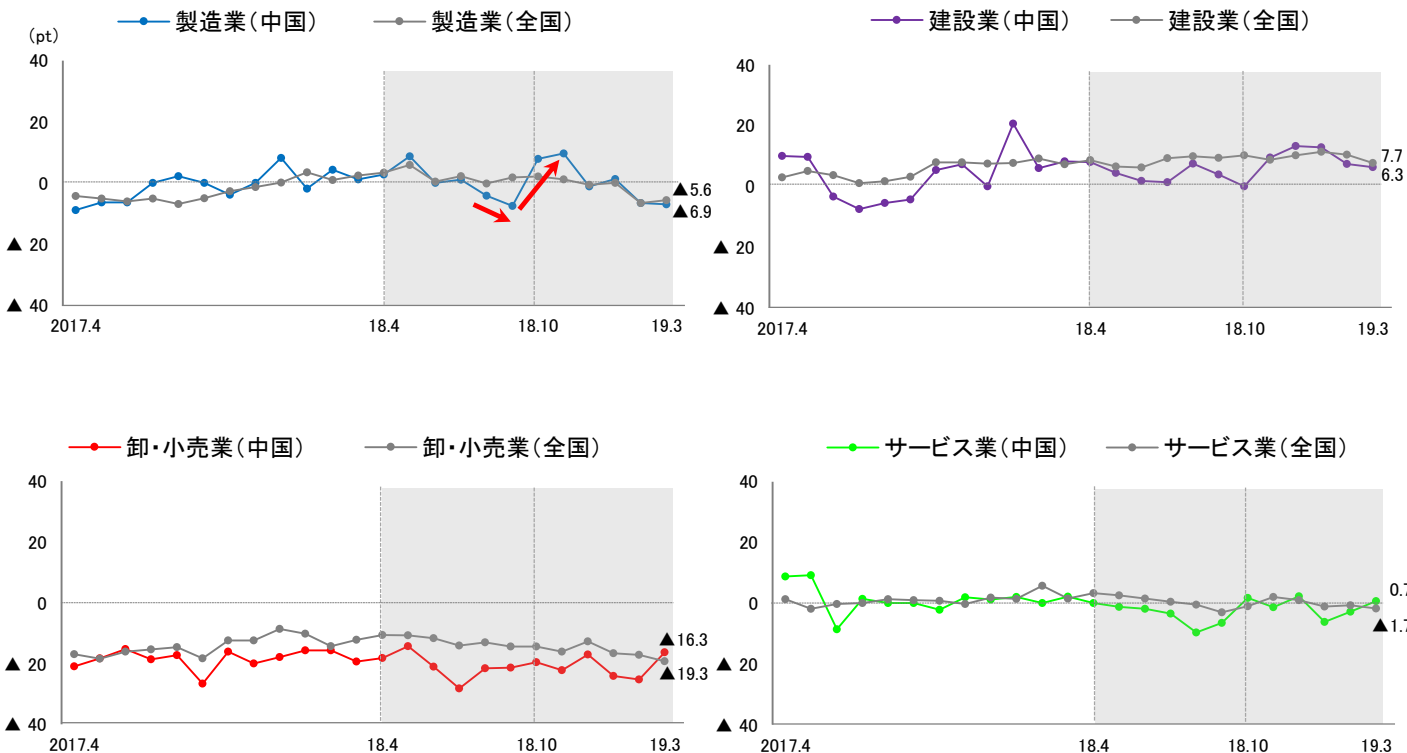
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。特にプラスの影響では、「国内景気の変動(好転)」が前年に比べ11pt減少しました。



Ⅱ 地域別分析 ⑧中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

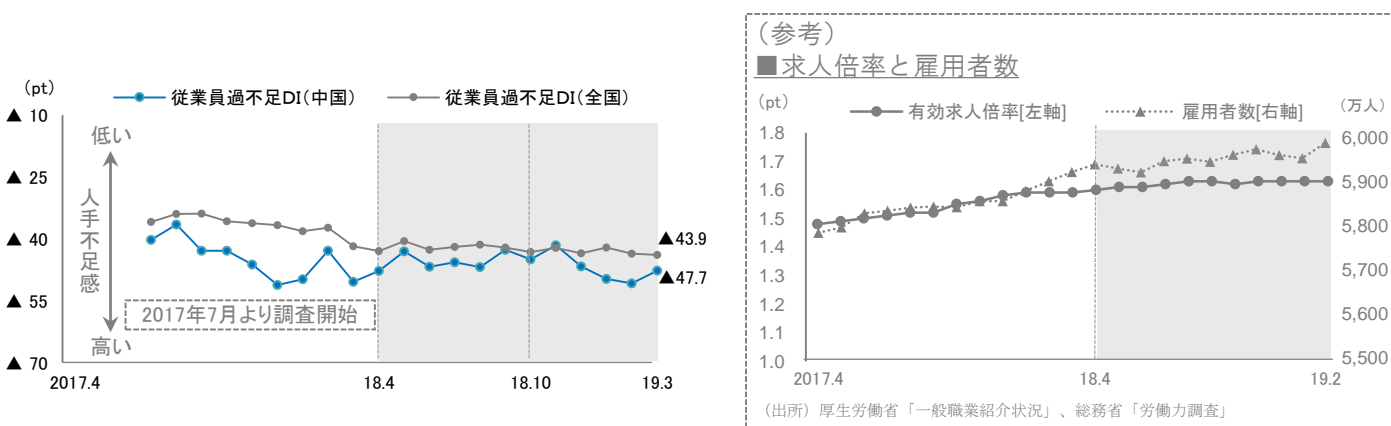
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／中国・全国比較）

製造	8～9月はマイナス圏で全国を下回り、10～11月にプラス圏で全国を上回る水準で推移。以降は全国と同水準で推移。
建設	プラス圏で概ね全国をやや下回る水準で推移。足もとはプラス圏で全国と同水準で推移。
卸・小売	マイナス圏で概ね全国を下回る水準で推移。足もと3月は全国をやや上回った。
サービス	概ね中立水準で全国をやや下回る水準で推移。足もと3月はプラス圏でやや全国を上回った。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（中国・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国を下回る水準で推移しました。人手不足感の高まりが見受けられます。

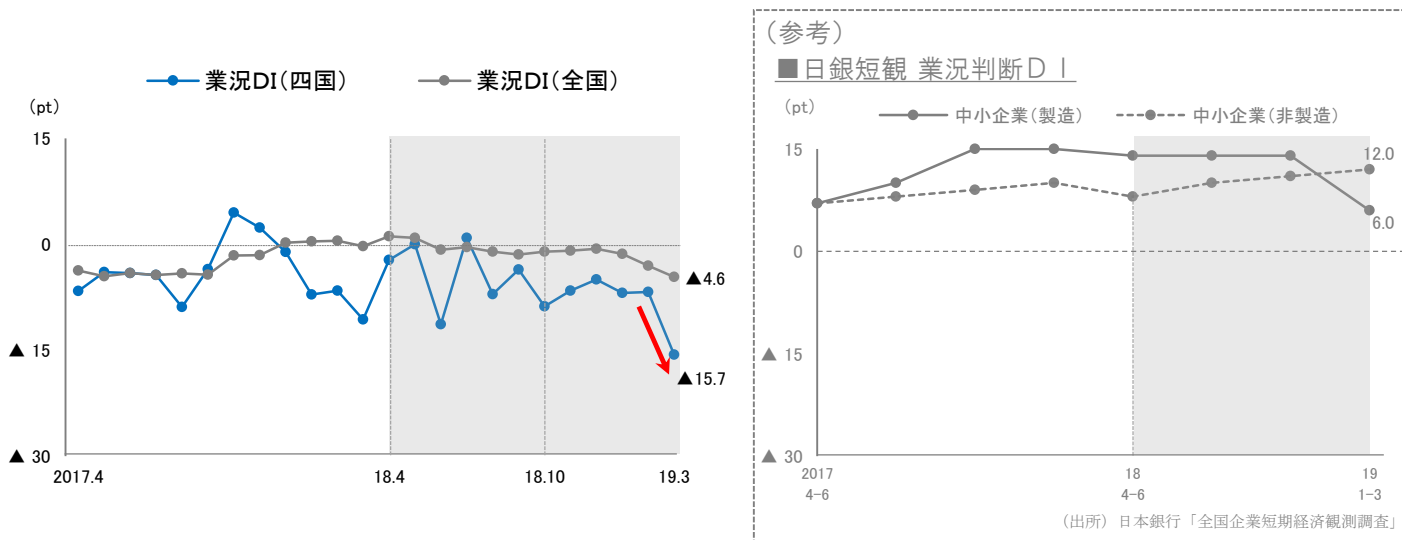


II 地域別分析 ⑨四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

2018年度の四国経済は、7月の西日本豪雨による影響が一部地域（愛媛県・高知県）で景況感の下押し圧力となりました。足もとでも減速傾向にあり、米中貿易摩擦や中国経済の減速の影響がうかがえます。

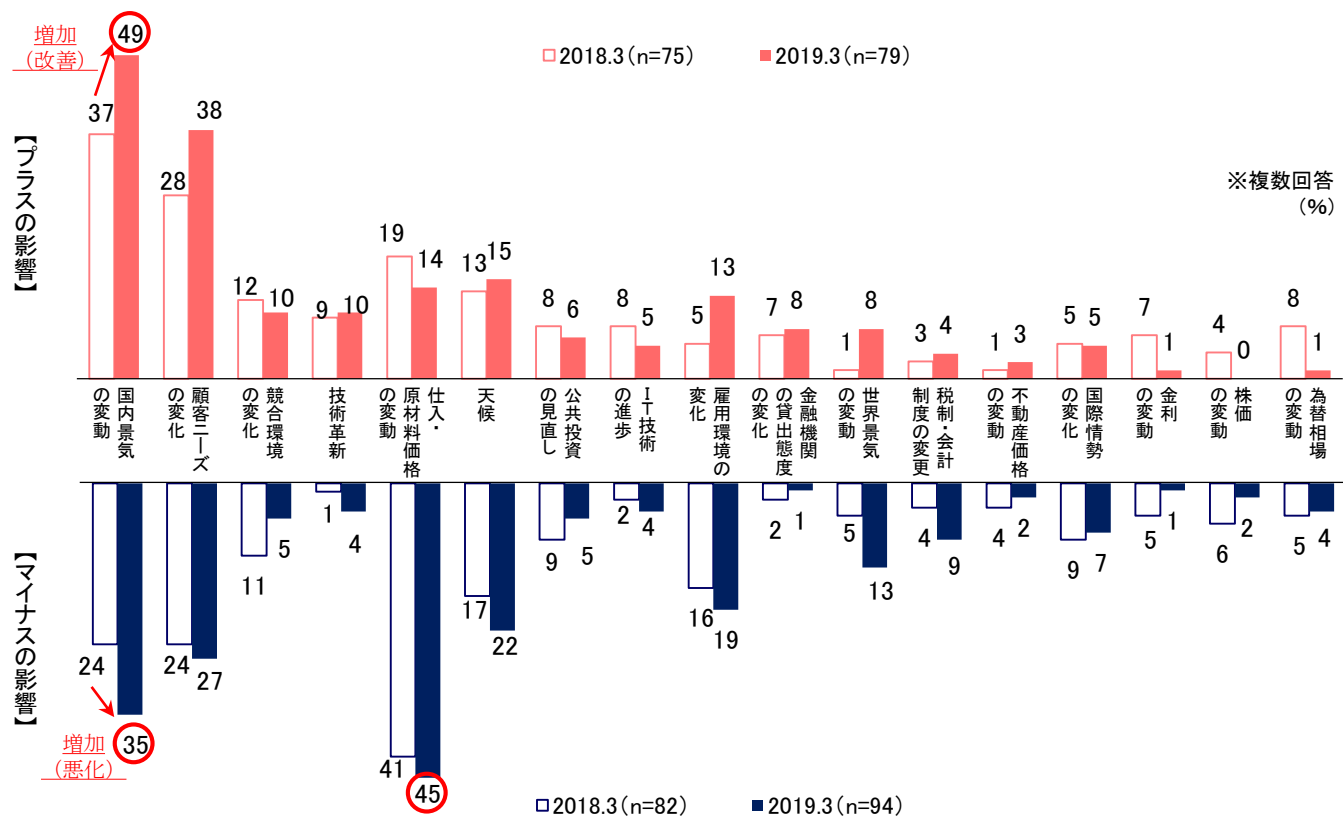
1. 大同生命サーベイ業況DI（四国・全国比較）

✓ 業況DIは、概ねマイナス圏で全国を下回る水準で推移しました。足もと3月は前月から大きく低下しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（四国/2019年3月・2018年3月比較）

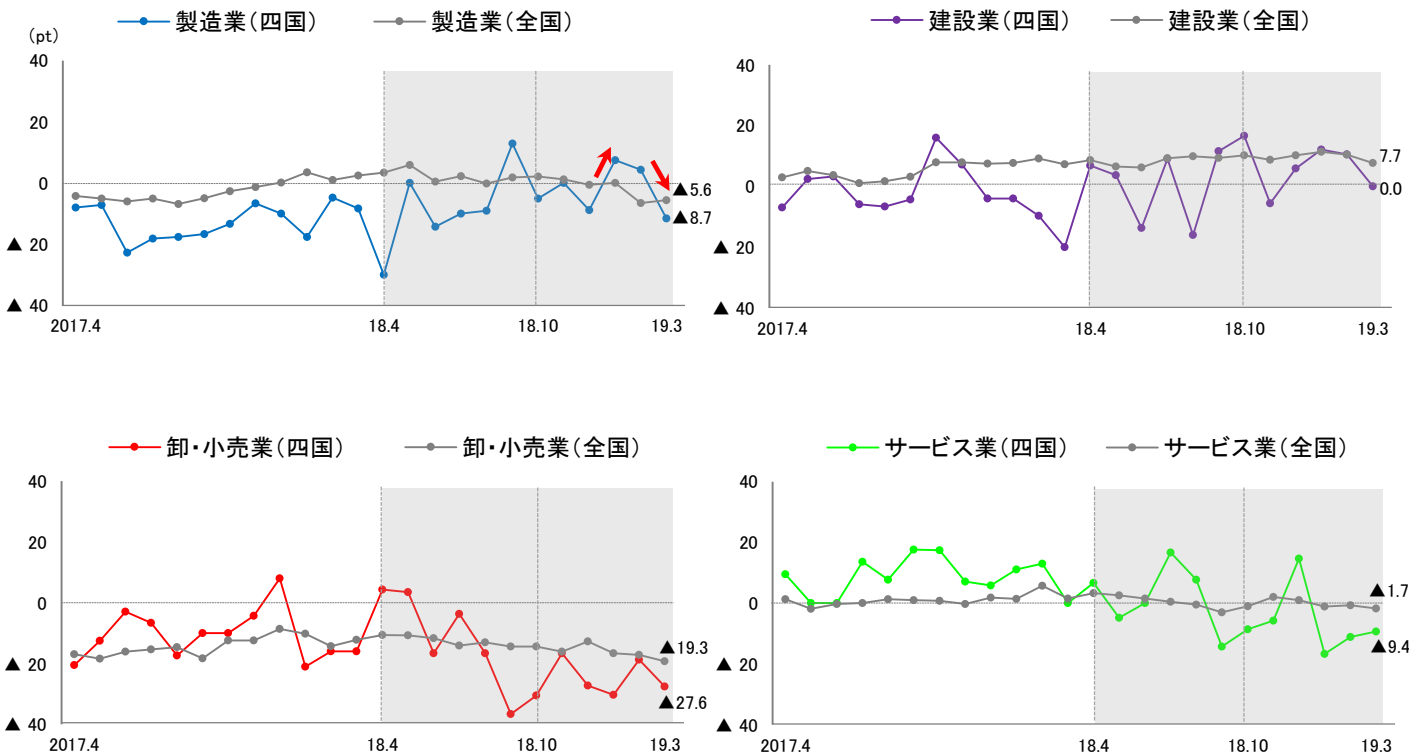
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。特にプラスの影響では、「国内景気の変動(好転)」が前年に比べ12pt増加した一方、マイナスの影響でも「国内景気の変動(悪化)」が11pt増加しており、二極化の状況がうかがえます。



Ⅱ 地域別分析 ⑨四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

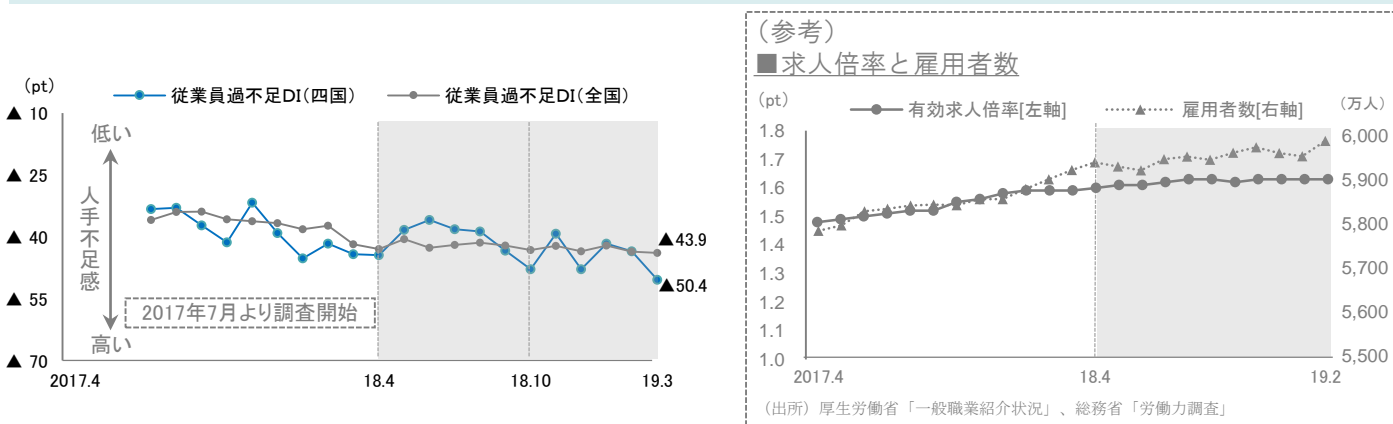
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／四国・全国比較）

製造	概ねマイナス圏で全国を下回る水準で推移。足もと1～2月はプラス圏を回復したものの、3月はマイナス圏に低下。
建設	プラス圏・マイナス圏を大きく変動しながら概ね全国を下回る水準で推移。足もと3月は中立水準。
卸・小売	概ねマイナス圏で全国を下回る水準で推移。足もと3月も全国を下回る水準。
サービス	プラス圏・マイナス圏を大きく変動しながら推移。足もと1～3月は全国を下回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（四国・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは、概ね全国と同水準で推移しましたが、足もと3月は全国を下回りました。人手不足感の高まりが見受けられます。

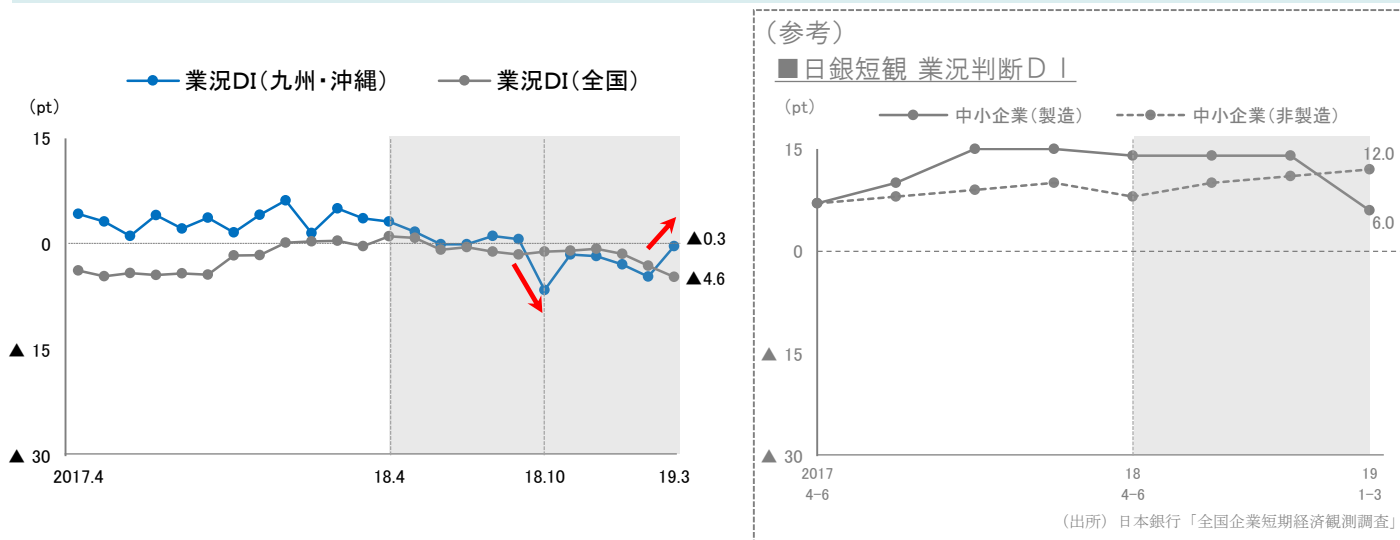


Ⅱ 地域別分析 ⑩九州・沖縄 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

2018年度の九州・沖縄経済は、9月の台風による影響や米中貿易摩擦、中国経済の減速の影響による景況感への下押し圧力があったものの、建設業の牽引もあり全体としては底堅く推移しました。

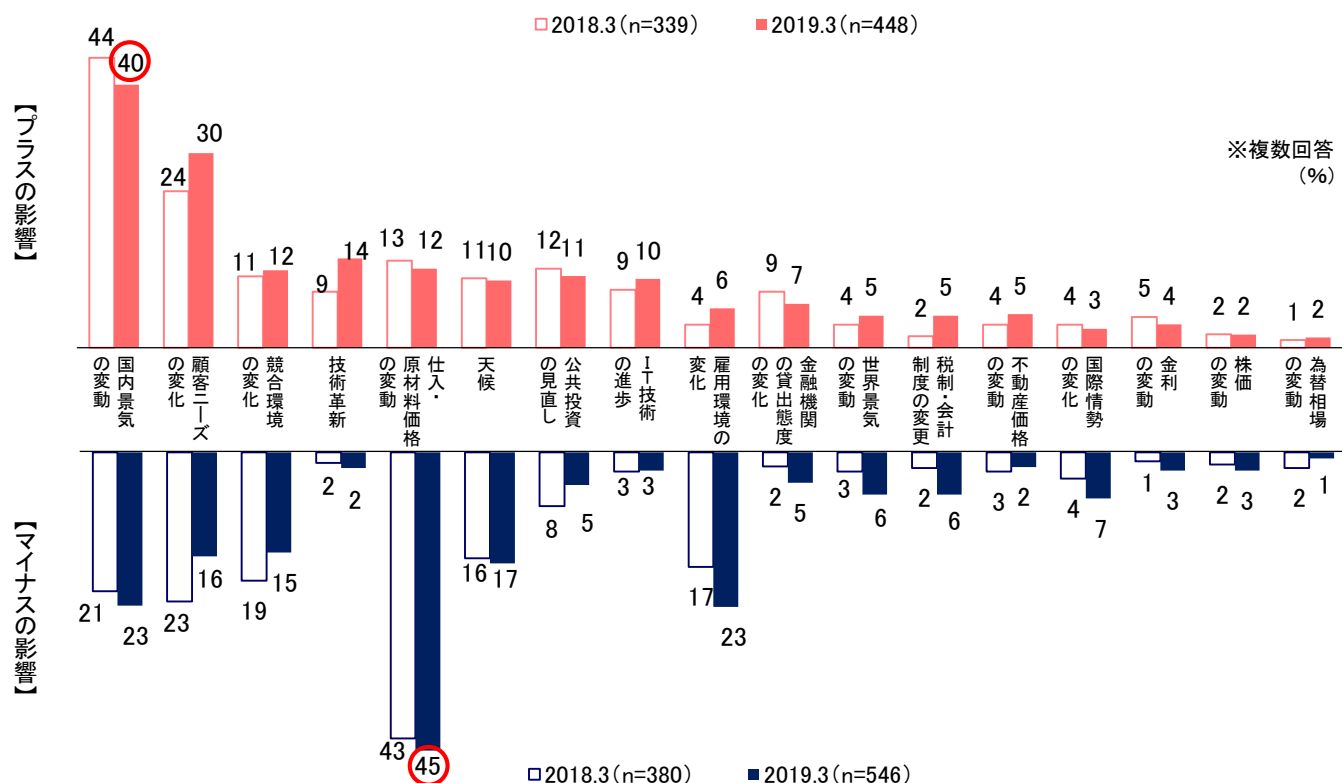
1. 大同生命サーベイ業況DI (九州・沖縄・全国比較)

- ✓ 業況DIは、概ね全国と同水準で底堅く推移しました。10月は9月末に発生した台風の影響により大幅に低下しました。足もとは1～2月に減速感が見られたものの、3月には回復しました。



2. 景況感に影響を与えた要因 (九州・沖縄/2019年3月・2018年3月比較)

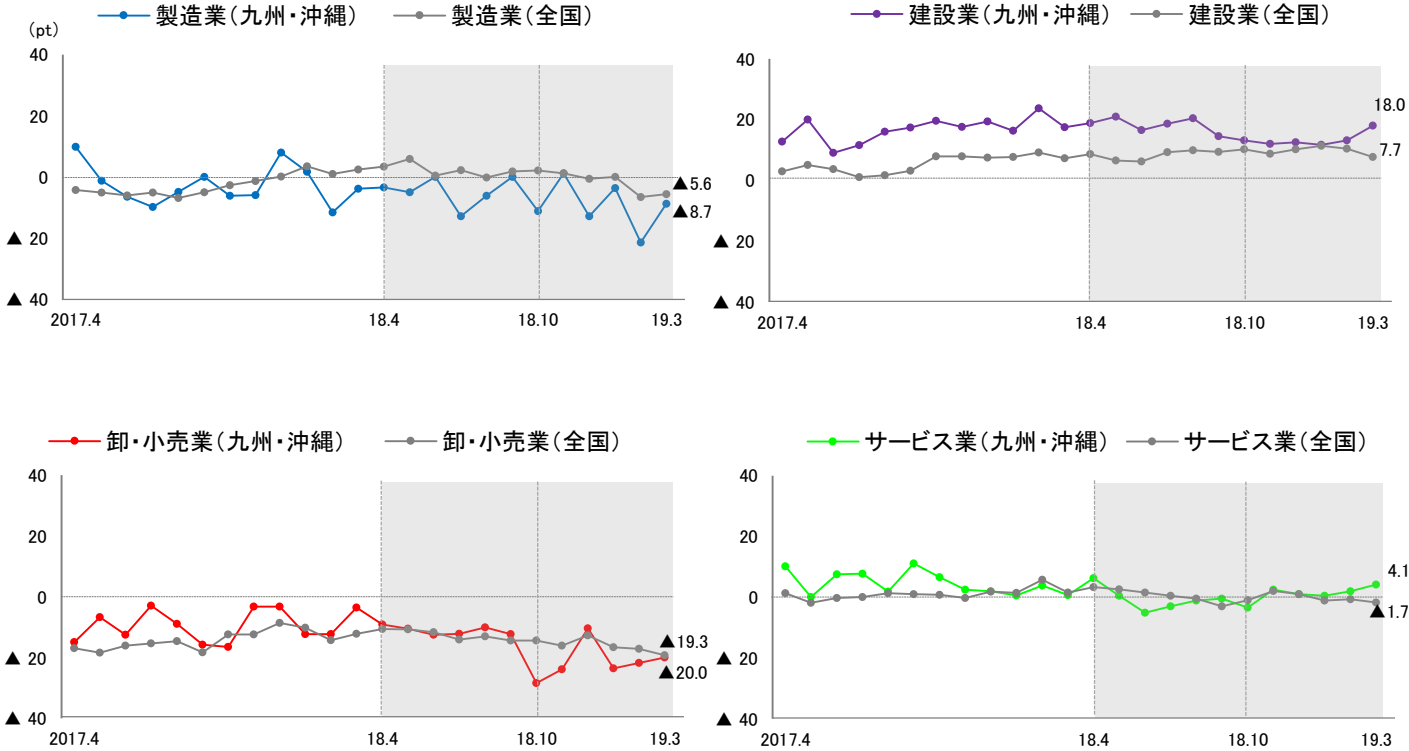
- ✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「国内景気の変動(好転)」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別分析 ⑩九州・沖縄 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

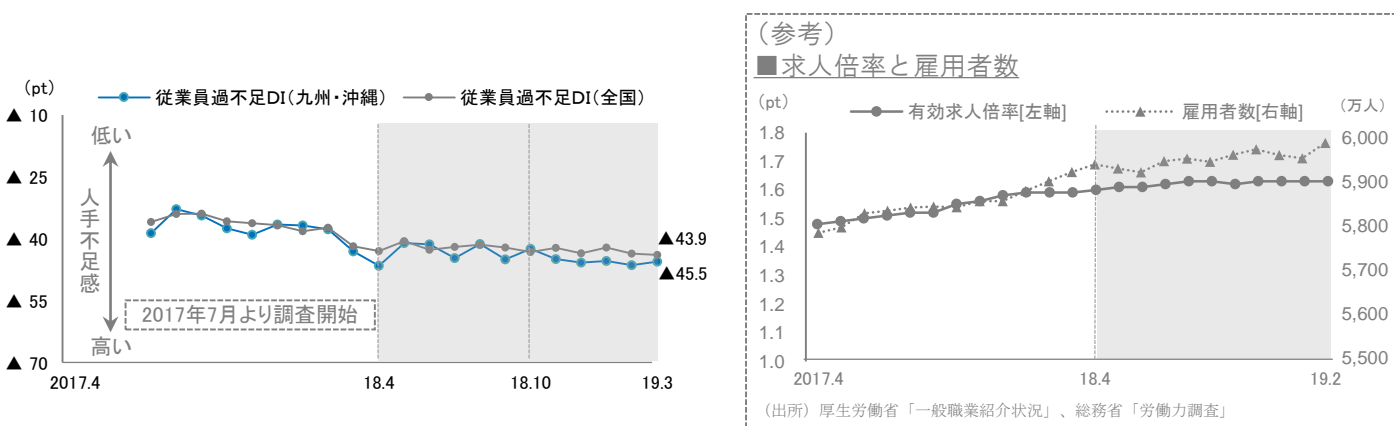
3. 大同生命サーベイ業況DI (業種別/九州・沖縄・全国比較)

製造	概ねマイナス圏で全国を下回る水準で推移。足もと3月は全国をやや下回る水準。
建設	プラス圏で全国を上回る水準で推移。足もと3月は全国を大幅に上回る水準。
卸・小売	マイナス圏で全国をやや下回る水準で推移。足もと3月は全国と同水準。
サービス	中立水準を全国と同水準で推移。足もと3月は全国をやや上回る水準。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI (九州・沖縄・全国比較)

✓ 従業員過不足DIは、全国をやや下回る水準で推移しました。



(参考) 調査概要[回答企業の属性]

(回答企業数)	4月	5	6	7	8	9
回答数	4,020	4,358	4,419	4,265	4,215	4,233

(従業員規模)	4月	5	6	7	8	9
5人以下	1,521	1,672	1,690	1,634	1,604	1,594
6～10人	864	902	916	894	846	883
11～20人	710	798	802	749	766	745
21人以上	834	905	916	879	888	910
無回答	91	81	95	109	111	101

(業種)	4月	5	6	7	8	9
製造業	824	886	864	836	871	848
建設業	898	1,017	1,027	1,019	964	992
卸・小売業	886	953	971	949	919	903
サービス業	1,214	1,298	1,321	1,247	1,239	1,285
その他	126	139	143	132	125	123
無回答	72	65	93	82	97	82

(地域)	4月	5	6	7	8	9
北海道	141	159	161	168	172	160
東北	248	276	270	275	277	276
北関東※	342	317	332	350	286	280
南関東※	785	890	880	868	889	851
北陸・甲信越	272	310	302	324	302	286
東海	414	419	379	401	372	339
関西※	707	681	637	625	668	668
中国	477	564	683	573	556	603
四国	102	115	95	117	102	152
九州・沖縄	532	627	680	564	591	618

※(北関東)茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県 (南関東)千葉県、東京都、神奈川県 (関西)滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(創業年数)	4月	5	6	7	8	9
10年未満	386	471	467	431	438	463
10～30年未満	1,103	1,161	1,142	1,150	1,096	1,109
30～50年未満	1,261	1,351	1,337	1,307	1,294	1,280
50～100年未満	1,033	1,125	1,201	1,120	1,099	1,108
100年以上	127	137	154	135	140	140
無回答	110	113	118	122	148	133

(経営者年齢)	4月	5	6	7	8	9
40歳未満	209	206	217	204	194	217
40歳代	834	948	986	933	932	919
50歳代	1,178	1,228	1,274	1,188	1,167	1,174
60歳代	1,128	1,252	1,215	1,226	1,190	1,179
70歳以上	563	636	637	608	612	642
無回答	108	88	90	106	120	102

(性別)	4月	5	6	7	8	9
男性	3,689	4,020	4,029	3,894	3,847	3,865
女性	257	270	310	285	260	279
無回答	74	68	80	86	108	89

(参考) 調査概要[回答企業の属性]

(回答企業数)	10月	11	12	1	2	3
回答数	4,345	4,256	4,181	4,177	4,296	4,492

(従業員規模)	10月	11	12	1	2	3
5人以下	1,655	1,590	1,597	1,587	1,648	1,769
6～10人	871	874	842	878	909	906
11～20人	784	744	737	737	725	786
21人以上	931	947	891	881	916	910
無回答	104	101	114	94	98	121

(業種)	10月	11	12	1	2	3
製造業	885	876	866	840	824	853
建設業	980	985	944	944	991	1,040
卸・小売業	959	926	923	944	907	957
サービス業	1,287	1,246	1,237	1,229	1,325	1,373
その他	136	140	119	130	157	157
無回答	98	83	92	90	92	112

(地域)	10月	11	12	1	2	3
北海道	155	155	162	152	165	165
東北	289	284	281	280	278	285
北関東※	288	283	274	306	285	431
南関東※	880	774	867	880	800	815
北陸・甲信越	299	302	274	299	331	312
東海	336	333	305	332	330	461
関西※	712	706	699	690	669	646
中国	589	542	479	423	479	497
四国	176	169	165	170	167	129
九州・沖縄	621	708	675	645	792	751

※(北関東)茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県 (南関東)千葉県、東京都、神奈川県 (関西)滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(創業年数)	10月	11	12	1	2	3
10年未満	429	424	420	419	473	502
10～30年未満	1,114	1,078	1,047	1,115	1,091	1,146
30～50年未満	1,329	1,286	1,257	1,274	1,265	1,352
50～100年未満	1,182	1,182	1,169	1,106	1,168	1,178
100年以上	149	148	140	116	144	143
無回答	142	138	148	147	155	171

(経営者年齢)	10月	11	12	1	2	3
40歳未満	218	187	195	188	217	265
40歳代	907	871	883	810	874	915
50歳代	1,191	1,194	1,142	1,173	1,203	1,221
60歳代	1,265	1,242	1,226	1,197	1,225	1,271
70歳以上	650	653	627	700	659	680
無回答	114	109	108	109	118	140

(性別)	10月	11	12	1	2	3
男性	3,941	3,864	3,809	3,781	3,908	4,079
女性	300	301	284	304	294	306
無回答	104	91	88	92	94	107